

HQ AMARA™₂₀

USER MANUAL

アマラ使用説明書

JAPANESE



 **Handi Quilter®**

Designed by a Quilter, for Quilters.®

HQ AMARATM 20

USER MANUAL

VERSION 1.2



アマラ使用説明書

2018 ハンディキルター株式会社 すべての著作権は留保されています

本マニュアルに含まれる内容は必要に応じて予告なしに変更されることがあります。内容に誤りを見つけた場合は速やかに書面にてハンディキルター社にご連絡ください。マニュアルの内容に誤りがないという保証はありません。ハンディキルター社はマニュアル内に含まれる可能性のあるエラーや不正確さに対し、一切の責任または責務を負いません。

Handi Quilter、HQ Amara、HQ Studio 2 Frame および Pro-Stitcher はハンディキルター社の商標またはトレードマークです。Digital tensioner は米国特許第 8,997,669 号の商標。

バージョン 1.2 11/2018

このマニュアルの使い方

記号の説明



メモ：ハンディキルター社製品をご使用する際の、より良い利用方法を得るのに役立つ重要な情報を示します



重要：ハンディキルター社製品を正しくご使用いただくために不可欠な情報を提供します



注意：アマラ、キルト、またはご使用者の安全を守るためのメッセージを示します



オンラインガイド：オンラインガイドで動画などの詳細情報が得られることを示します



キルティングヒント：キルティング作業がスムーズに進むようなヒントをご用意しています

各種情報の検索

何をお探しですか？

ここを検索

製品保証内容	ユーザーマニュアル
安全に関する情報	ユーザーマニュアル
各種規制に関する情報	ユーザーマニュアル
アマラに付属しているもの	ユーザーマニュアル
アマラ仕様	ユーザーマニュアル
フレームのセッティングに関して	HQ Studio2 フレーム組立マニュアル
アマラのセッティングに関して	ユーザーマニュアル
糸の掛け方	クイックリファレンスカード
針に関する情報	クイックリファレンスカード
キルティングを始める	ビデオ- USB スティック
オンラインガイドビデオ：	
https://www.youtube.com/playlist?list=PL9AWSLDAL8szQy4mKlnMleYaROe8OWDwb	
基本的なメンテナンス	ユーザーマニュアル
トラブルシューティング	ユーザーマニュアル
ヒントとコツ	www.HandiQuilter.com/Live/
	https://www.youtube.com/user/HandiQuilterHQ/videOS
トレーニングとエデュケーション	www.handiquilter.com
カスタマーケアサポート	090-2332-5770 月曜日から金曜日の午前 9:00-午後 5:00 info@quiltgarden.jp Blog: https://HandiQuilter.com/blog www.facebook.com/HandiQuilter

目次

このマニュアルの使い方	2
ご購入おめでとうございます	5
ミシンの付属品	5
安全にご使用いただくために	5
ミシンについて	9
仕様説明	9
アマラについて	10
アマラをフレームにセットする	13
ミシンベースキャリッジ	13
電源コードを接続する	14
フロント操作ハンドルを取り付ける	14
後方操作キット（オプション）	18
タッチスクリーンディスプレイを使ってみる	19
糸コマ立てと糸案内棒	21
オプションのアクセサリー	21
アマラを使ってみる	25
電源スイッチ	25
ソーイングライト	25
マグネット・ツールホルダー	25
針に関して	25
フリーモーション押え	27
オプションアクセサリー：ハンディ押え	28
ボビンと下糸調子の調節方法	29
上糸テンションの調節方法	31
上糸の掛け方	32
キルティングで縫ってみる	34
フレームの準備	34
フリーモーションキルティング	35
マイクロキルティング（スティップリング）	35
プロスティッチャー自動キルティング（オプション）	36
タッチスクリーンの説明	38
メイン画面の説明	39
ステッチモード	41
ツールバーオプション	46
ソーイングライト	46

ミシンのツール画面	47
キルティングタイマー、ステッチカウンター、キルティングアラーム	47
電卓機能	49
ソフトウェアの更新	50
診断プログラム	53
ミシンの設定	53
下糸残量アラーム	54
操作ハンドルボタンオプション	56
針位置ポインター	58
アラーム	58
留め縫い機能	59
言語の設定	60
インフォメーション画面	60
メンテナンスの方法	63
掃除と注油	63
メンテナンスの予定	64
困ったときは	65
製品保証書	71
製品保証登録証	73
講習内容チェックリストと認定証	75

ご購入おめでとうございます

このたびはHQキルティングミシンをご購入していただき、同時にハンディキルター・ファミリーにご参加いただけ大変光栄に存じます。ハンディキルターは今日、世界で最も数多く使われているキルティングミシンです。

ハンディキルター社は、革新的で信頼性あるカスタマーフレンドリーな製品、そして豊富なカスタマーエデュケーションをご提供できるよう常に取り組んでおります。ハンディキルター製品は、キルターのために、キルターによって設計され、ユーザーの立場でより使いやすくを念頭に常に改善を重ねております。当社のウェブサイトブックマークしていただくために www.HandiQuilter.com にご招待いたします。ご訪問いただければ、より多くのことを学んでいただけることと思います。何かご質問があれば、ハンディキルター正規輸入販売代理店がいつでもあなたをサポートいたします。



重要：梱包材料は出来る限り保管してください。ミシンを定期点検や修理に出す際、必要になります。

ミシンの付属品

- ボビン (5個)
- ボビンケース
- 針(134工業用)サイズ 100/16(10本入り)
- 針(134工業用)サイズ 110/18(10本入り)
- 糸コマ立てと糸案内棒
- ペン型オイル
- 電源コード
- 小型ドライバー
- 2mm 六角レンチ
- 2.5 mm 六角レンチ
- 3 mm 六角レンチ
- 5 mm 六角レンチ
- オープン型フリーモーション押え
- 操作ハンドル用ステッカー(2枚)
- クイック リファレンス カード
- HQ 下糸巻機
- フットペダル
- アマラキルティングミシン
(含むキャリッジ土台、正面操作ハンドル、正面スクリーン、操作ハンドル接続コード)

安全に関する情報



重要：お使いになる前に必ず全ての説明をお読みください。このミシンをお使いになるときは、以下に記述されている内容も含め、基本的な安全予防策に準じてご使用ください。

安全にお使いいただくために

ご使用前に必ず全ての説明を読みご理解ください。

このミシンをお使いになる際には以下の基本注意事項を守ってください。

危険：感電事故を避けるために

- ミシンをご使用にならないときや、クリーニングやメンテナンスをされるときは必ずミシンの主電源スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告：火傷、火事、感電、怪我などを避けるために

- アマラは大変重いミシンです。取り外して移動するときは必ずふたりで持ち上げるようにしてください。
- 使用説明書に従って、ミシンのメンテナンスや針の交換、注油、調節をするときは、必ずミシンの電源スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らず、プラグをつかんで引き抜いてください。
- 動く部品に指を近づけないでください。ミシンの針の周りでは特に気をつけてください。
- 針は頻繁に交換しましょう。曲がった針は絶対に使わないでください。キルトは新しい針で縫われるのを望んでいます。
- 針の周りで作業をするときや、針の交換、釜への注油、針に糸を通すとき、押えの交換、ポビンケースの出し入れの際などは必ずミシンの電源スイッチをオフにしてください。
- ミシンの開口部に異物を落とさない、また差し込んだりしないでください。
- アマラを屋外では使わないでください。また湿気の多い場所でのご使用は控えてください。
- アマラを高温多湿の場所に保管しないでください。
- 使用説明書に示された以外の使い方は絶対にしないでください。
- 電源コードやプラグに傷が付いているときや、作動が正常でないとき、落としたりダメージを受けたとき、水に浸かったりしたときなど、このような場合はミシンを使わないで直ちに正規販売代理店に検査、修理、調整を依頼してください。
- ハンディキルター社が認定するキルティングフレーム以外の装置では使用しないでください。
- ハンディキルター社純正以外のアクセサリやアタッチメントを使わないでください。
- 通気孔をふさいだ状態でミシンを使わないでください。糸くずやごみ、布地で通気孔がふさがれているような状態は危険です。必ず掃除してください。
- エアスプレーが使われている付近でのご使用は絶対に避けてください。
- ミシンを使用中は布を急に押したり引いたりしないでください。針が曲がり、折れる場合があります。
- ハンディキルター社が推奨する針以外は使わないでください。間違った針を使うと、針が折れ、釜に傷を付けたりする結果を招きます。純正品以外の針を使うと針折れを起こします。
- 小さなお子様がこのミシンで遊んだりしないよう気をつけてください。周りにお子様がいる状況でミシンを使う際は十分に安全を確認してください。

- 以下の条件に該当する方がこのミシンをお使いになるときは、ご使用上の注意事項を理解した熟練の指導者が必要です。ご指導できる方がいない状況で以下に該当する方がミシンを使うことは危険です。安全を保障できません。
 - ◇ 8歳以上のお子様(8才未満のお子様にはお勧めできません)
 - ◇ 身体の不自由な方
 - ◇ 未経験な方
 - ◇ ご高齢の方
 - ◇ 精神的疾患のある方

この説明書を大切に保管してください

このミシンはご家庭でご使用いただくように設計されています。

免責事項確認

ハンディキルター社およびその製品の販売に関与する組織と個人は、ハンディキルター社製品を不当に扱ったり、このマニュアルに従わない使い方をしたり、ハンディキルター社が推奨しないキルトフレームを使って発生するいかなるダメージや法的な債務への責任を負うものでないことを宣言します。

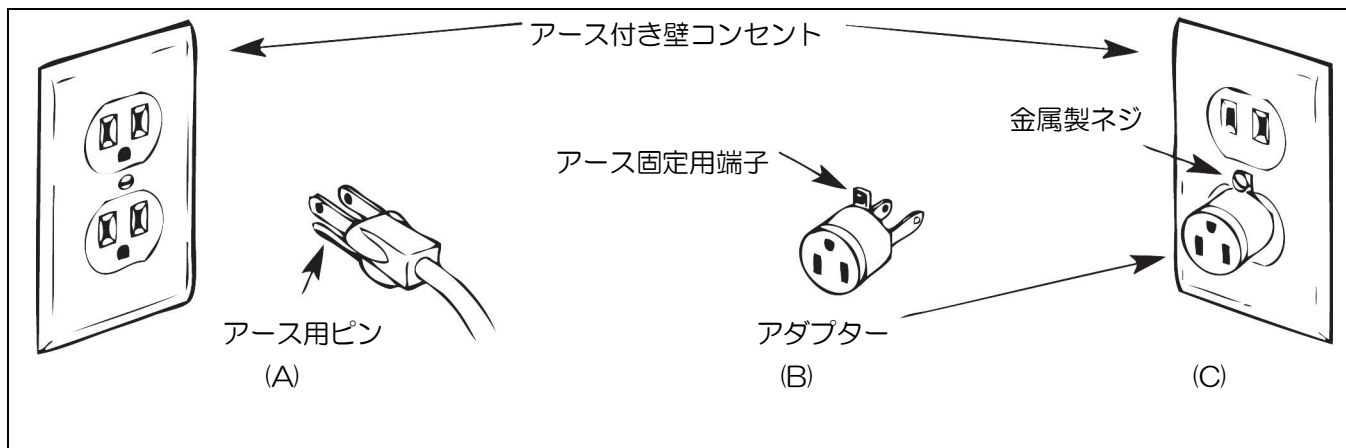
安全にご利用いただくために：

1. ソーイング中は針の動きに十分ご注意の上、はずみ車や天秤、針など動く部品には絶対に触れないでください。
2. 次のような場合はミシンの電源コードをコンセントから抜いてください。
 - ミシンを使わないとき
 - 針やそのほかの部品を交換するとき
 - 使用中に間違った操作をしたとき
 - ミシンを点検、掃除するとき
 - ミシンから離れるとき
3. 延長コードなどはできるだけ使わず、直接壁の電源コンセントに接続してください。

ミシンを大切に長くご使用いただくために：

1. 直射日光の当たる場所や湿気の多い場所で長期に保管しないでください。電熱器、アイロン、ハロゲンライト、その他熱を発生する物の近くでは使わないでください。
2. ミシンをクリーニングするときは、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に浸して拭いてください。ベンジンや溶剤、磨き粉のようなものは塗装面を著しく損傷しますので絶対に使わないでください。
3. 落としたり、ぶついたりしないでください。
4. 押えや針、その他の部品の交換はマニュアルに従って行ってください。

USA 以外での使用時 アースピンの取り扱い方



このミシンには 120-240 ボルト対応のアース用ピンがついたプラグが採用されています(図中 A 参照)。ご家庭の壁に埋め込まれたコンセントに接続する場合には、アース接続用のピン穴のついたコンセントをお使いいただくか、電気店などでピン穴の無い普通のコンセントに接続できるアダプター (B) をご購入して接続してください。日本国内の電圧は 100 ボルトです。ミシンの使用に際し、アースへの接続は義務付けられていません。ご不明な点は正規販売店にご相談ください。

➡ 重要：カナダではアダプターのご利用は法律で禁止されております。

故障かなと思ったら

もしミシンが故障し調整が必要と思われたら、このマニュアル 65 ページの「困ったときは」を参照してご自分でできることを試してみてください。

更に詳しい情報が必要な場合はお買い求め店にご連絡ください。

マニュアルの内容は事前の通達なく変更、改訂されることがあります。最新のマニュアルをご覧になるには、www.HandiQuilter.com/manuals/ を検索してください。

ミシンについて

仕様説明

アマラはハイテク電子技術を応用した革新的な液晶タッチスクリーンをキルティング業界でいち早くユーザーインターフェースとして利用し、ご家庭での機能的な使いやすさを可能にしました。耐久性に優れ、お手入れしやすい高品質のキルティング専用ミシンです。

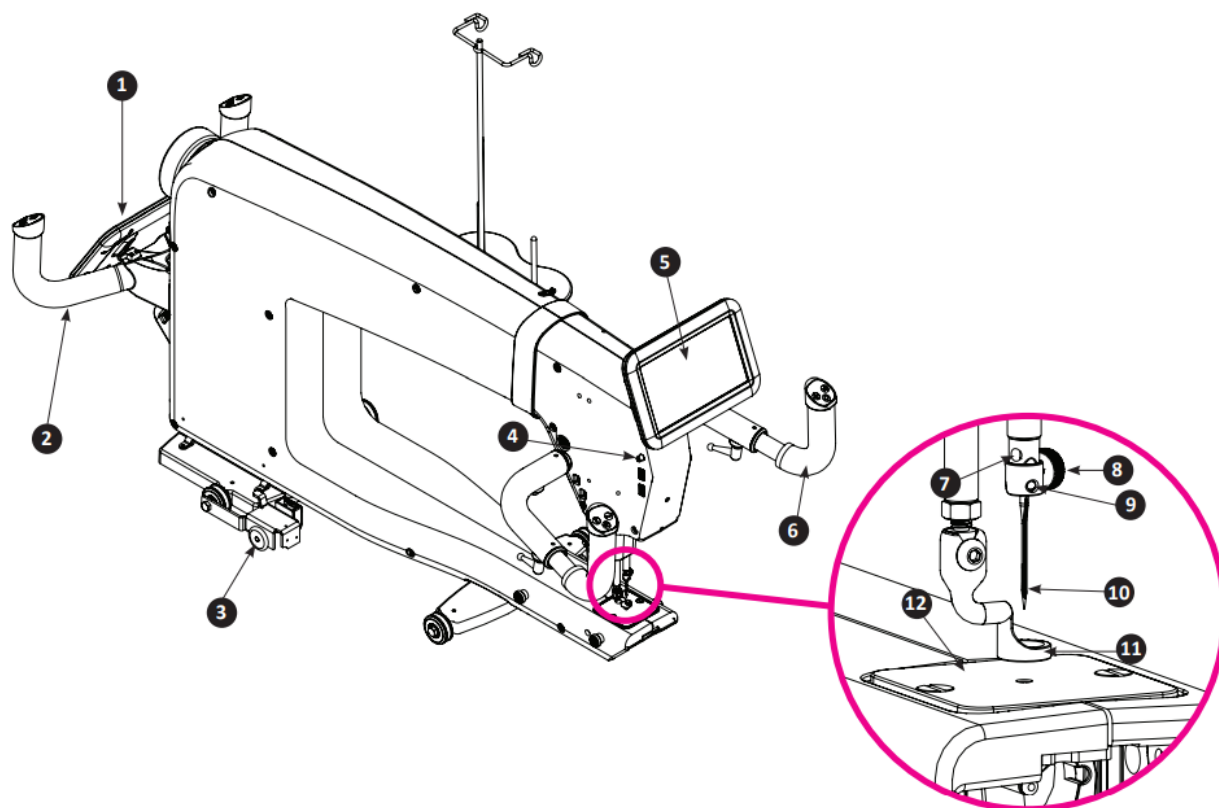
開口部寸法：	228mm x 521mm
速度：	マニュアルモード：25 針/分 ~ 最高 2500 針/分 ステッチレギュレーターモード：0 ~ フルスPEED
針目：	4 針/インチ (6mm) ~ 24 針/インチ (1mm) しつけ縫いモード：6mm、12mm、24.5mm、49mm、100mm
針仕様：	134(135x7)DPx5
針サイズ：	#12/80 ~ #21/130
釜システム：	垂直全回転釜、M-クラスポビン
ポビン：	アルミ製、M-クラスサイズ
ポビンケース：	MF タイプ
モーター：	直流制御(ブラシレス)
針上下：	アップ/ダウン、ウォーキングステッチ(留め縫い)、画面上ではずみ車操作
電圧：	100-240V ユニバーサルボルテージ対応、50/60Hz、1.5-3.3A この製品は U/L、日本、及び国際安全基準に準じるものであり、USA 及び国際法にのっ とった家庭電化製品であることを証明します。
標準使用電力：	最大 120 ワット
押え上下ストローク：	5mm
針棒ストローク：	35.3mm
上糸天秤ストローク：	73mm
注油：	Kluber ミシン油、恒久タイプ
釜オイル：	Velocite10、Texaco22

免責事項：

ハンディキルター社とその小売業者は、このマニュアルに記載されている内容に従わずにアマラが不適切に使用された場合、またはハンディキルター社が推奨しないフレームで使用された場合に生じるいかなる損害に対するの法的責任の義務を負いません。

アマラについて

アマラの各部名称（左側面と手元）

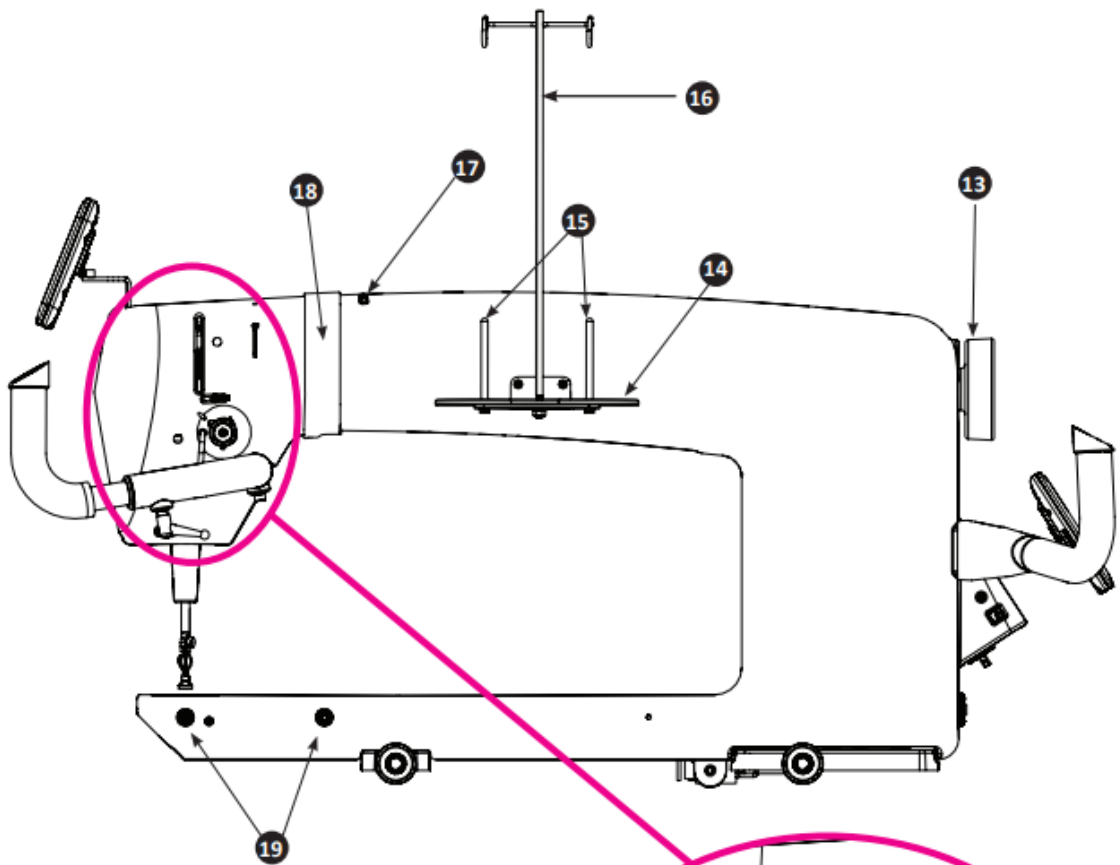


1. 後方操作スクリーン(オプション)
2. 後方操作ハンドル(オプション)
3. ミシン縦方向エンコーダー
4. 手元電源スイッチ
5. スクリーン
6. 前方操作ハンドル

拡大部名称

7. 針最上部確認孔
8. 針取り付けネジ
9. 針元上糸ガイド
10. 針
11. フリーモーション押え
12. 針板

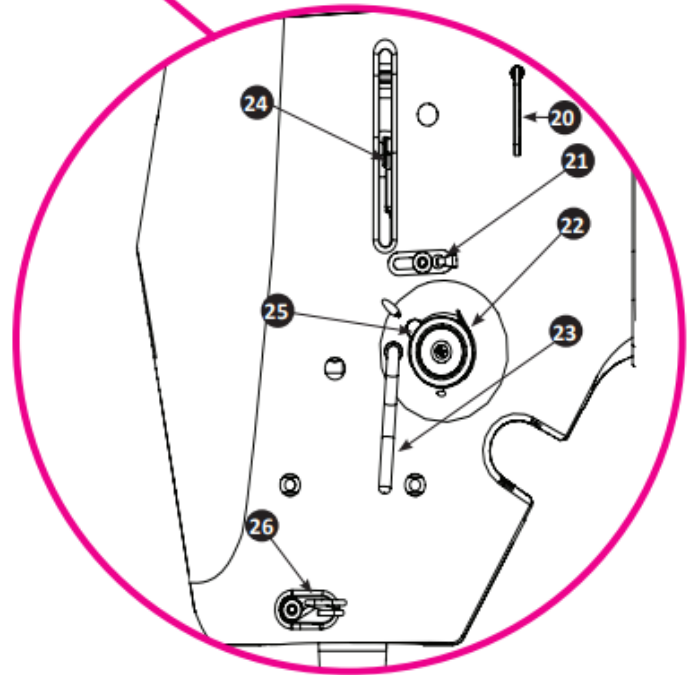
アマラの各部名称（右側面）



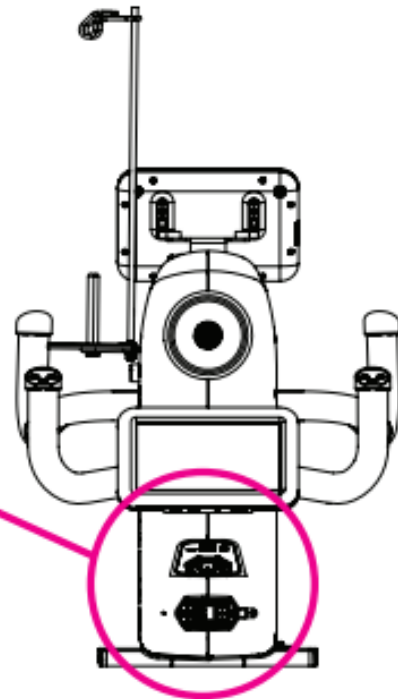
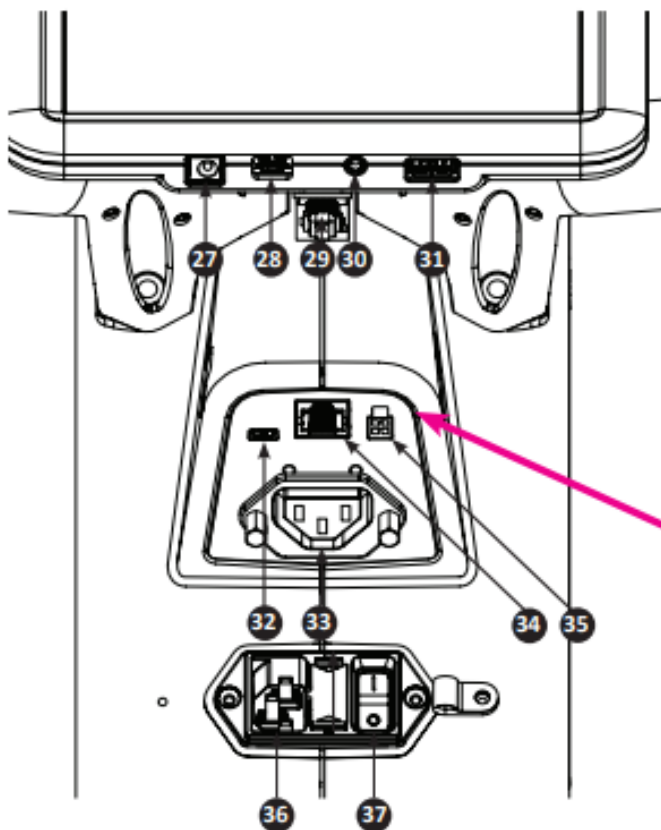
- 13. はずみ車
- 14. 糸コマ立て台
- 15. 糸コマ立て
- 16. 上糸案内棒
- 17. 上糸ガイド
- 18. マグネットホルダー
- 19. ルーラーベース取付案内

拡大部名称

- 20. 3つ孔上糸ガイド
- 21. 上糸ガイド
- 22. 上糸ダイヤルテンション
- 23. 上糸折り返しガイド
- 24. 天秤
- 25. 糸切れセンサー
- 26. 上糸ガイド



アマラの各部名称（後方）



スクリーン配線

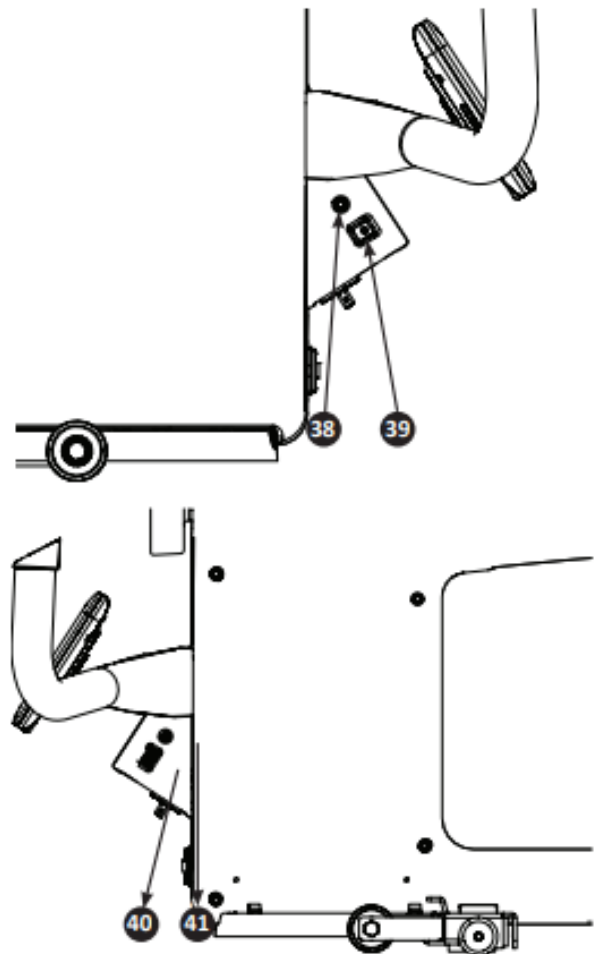
- 27. 後方スクリーン接続ソケット（オプション用）
- 28. 後方スクリーンスイッチ
- 29. 後方操作ハンドル接続ソケット
- 30. 後方スクリーンオーディオ接続ソケット（未使用）
- 31. USBソケット

ミシン接続部

- 32. 後方スクリーン接続ソケット
- 33. 電源コード接続ソケット
- 34. 後方操作ハンドル接続ソケット
- 35. プロスティッチャー接続ソケット
- 36. 外部電源ソケット
- 37. 電源スイッチ

後方接続部

- 38. 横方向エンコーダー
- 39. レーザー接続コネクタ
- 40. USB外部電源コネクタ（下）
- 41. 縦方向エンコーダー接続コネクタ（上）



アマラをフレームにセットする

ミシンベースキャリッジ

すでに HQ Studio2 フレームが組立てられていることを前提に説明します。フレームの詳細な組立て手順については、フレームのセッティングマニュアルを参照してください。



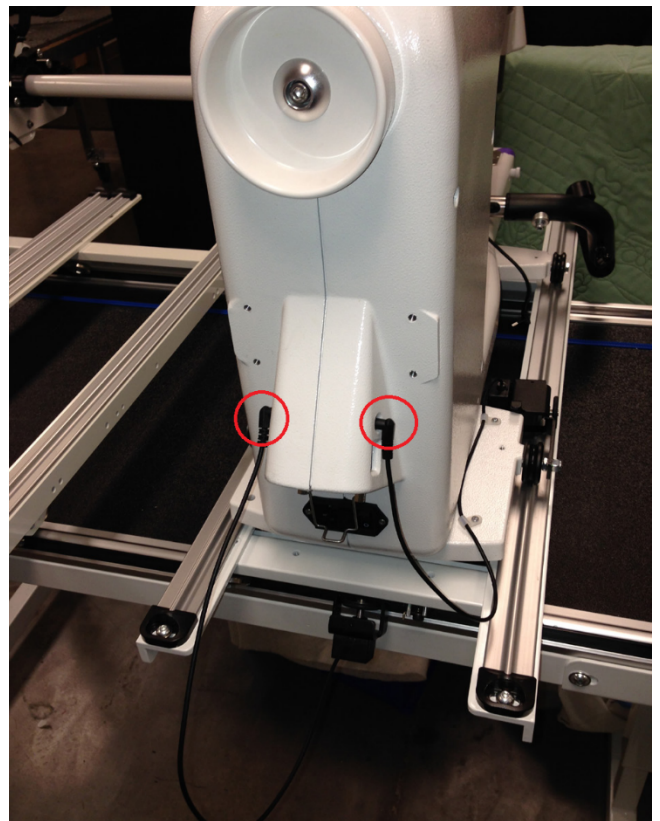
重要：フレームが 16/18 インチのミシン用ではなく、アマラの 20 インチ用に設定されていることを確認してください。

フレームにミシンベースキャリッジとアマラを取り付ける

1. キャリッジをステッチレギュレーター側が後側にくるようにフレームにセットします。
2. アマラをキャリッジの上に置く。

注意： HQ アマラはひとりで持ち上げるには重いので、常にふたりで作業してください。持ち上げるときは針の周りに手が当たらないよう注意して、作業ハンドルではなくミシンの胴体をじかに持ち上げます。

3. アマラの背面左側にある丸いジャックに、キャリッジから出ているステッチレギュレーター用ケーブルのプラグを差し込みます。
4. アマラの背面右側にある丸いジャックに、アマラ本体についているステッチレギュレーター用ケーブルのプラグを差し込みます。



重要： キャリッジからアマラを取り外す必要がある場合は、ステッチレギュレーターのプラグをソケットから抜いてからアマラを持ち上げてください。これを怠るとケーブルやエンコーダーを損傷させることがあります。



注意： アマラの電源が入った状態では絶対にいかなるコードの着脱もしないでください。アマラに電氣的な損傷を与える可能性があります。

電源コードを接続する

まず、電源スイッチ（12 ページ、#37 参照）がオフになっていることを確かめます。電源コードをアマラ本体の電源用ソケットに接続します。この時点ではまだ電源コードをコンセントに差し込まないでください。

電源コードをアマラから取り外すには、プラグについている赤いボタンを押したままプラグを抜きます。

更に詳しい情報はマニュアル 25 ページの「アマラを使ってみる」の「電源スイッチ」を参照してください。



メモ：電源コードをコンセントにつなぐときは、ミシンの主電源がオフになっていることを確かめてください。

前方操作ハンドルを取り付ける

アマラの正面に操作ハンドルを装着します。パントグラムをキルティングパターン台においてキルティングする場合には後方操作ハンドルをオプションで取り付けることも出来ます。通常は前方操作ハンドルを使ってキルティングします。前方操作ハンドルは、いろんな状況に応じて左右の向きや前後方向に長さを調節することが出来ます。

タッチスクリーンの詳細については、19 ページの「タッチスクリーンディスプレイを使ってみる」を参照してください。



注意：操作ハンドルを着脱するときには、電氣的損傷を防ぐために必ずすべての電源をオフにします。

操作ハンドルを取り付ける

1. コーン形のくさび型アダプターと M6X 45mm の六角ネジ、および 6mm フラットワッシャーを使います。右図参照



重要：4 つの調節レバー(右写真)が前方操作ハンドルに取り付けられています。これらを使ってハンドルの角度や前後の距離を調節し、通常のキルティング用の位置やスティッピング用の位置に調節します。



2. アマラの正面裏側にある「U」字型スロットに前方操作ハンドルを当てます。操作ハンドルから出ているコードは左側に来るようにします。



3. アマラの左側、「U」字型のくぼみの真上にある穴と操作ハンドルのブラケットのネジ穴の位置を合わせます。



4. くさび型アダプターを差し込み、M6x45mm 六角ネジを指で軽くねじ込み、付属品の5mm 六角レンチを使ってネジをしっかりと締めます。ハンドルがしっかり固定されているのを確認します。



5. 操作ハンドルから出ているUSB ミニ B ケーブルを接続します。長いケーブルのコネクターを下側のソケットに、短いケーブルのコネクターを上部のソケットに接続します。



6. 前方操作ハンドルは左右独立して、前方または後方、左右に傾けたり、最も使いやすい位置に調節することができます。位置が決まったら調節レバーをしっかりと締め付けます。



重要：17ページの「操作ハンドルにラベルを貼り付ける」を参照してください。



前方操作ハンドルの角度を調節するには

操作ハンドルの手前下、左右についているふたつの調節レバーを使って、操作ハンドルの角度を使いやすい位置に回転させます。



オンラインガイド：操作ハンドルの調節方法の詳細は、<https://youtu.be/kuTCö-dV4zw> を閲覧してください。

- ・ 調節レバーを緩めて操作ハンドルを手前に引くと操作ハンドルの長さを調節できます。

スティップリング用に操作ハンドルを調節するには



オンラインガイド：スティップリング用の正面操作ハンドルの調節に関しては、「スティップリングビデオ」<https://youtu.be/ZNYy84Câkurv1V> を閲覧してください。

スティップリングの場合、操作ハンドルを出来るだけキルトトップ近くに来るように調節します。操作ハンドルの角度を調節することに加えて、キルトからの距離を調節することもできます。

- ・ 後方操作ハンドル（オプション）ボルトを緩めて、操作ハンドルを押し、使いやすい位置までキルトに近づけます。左右片方ずつ調節します。



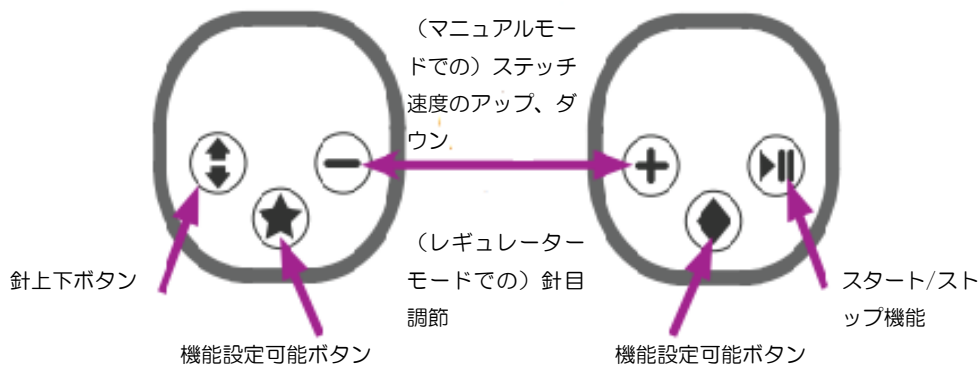
メモ：操作ハンドルボルトはスプリングロードされており、必要に応じて角度を調節することができます。

操作ハンドルボタンの機能設定

アマラの操作ハンドルのボタンをお好みの機能に設定することができます。一度設定すると正面と後方の操作ハンドルは同じように動作します。

工場から出荷された状態のアマラは、右の操作ハンドルには、スタート/ストップ機能とマニュアルモード時のステッチ速度を上げる機能、またはステッチレギュレーターモードでの針目を大きくする機能がプリセットされています。左の操作ハンドルには、針を上下させる機能と、マニュアルモードでステッチ速度を遅くする機能、またはステッチレギュレーターモードでの針目を小さくする機能がプリセットされています。

これらのボタン機能は使いやすいようにカスタマイズして、左右の機能を入れ替えたり、アマラの複数の機能からひとつを選んで「星形」ボタンに、もうひとつを選んで「ひし形」ボタンに設定することも出来ます。たとえば、「ひし形」ボタンに留め縫い機能、「星形」ボタンには別の機能を設定することができます。



操作ハンドルとボタンのカスタマイズ機能に関する詳細については、マニュアル 56 ページの「ハンドルバーボタンをカスタマイズするには」を参照してください。

操作ハンドルのラベルは、左右を入れ替えて貼り付けることも出来ます。たとえば、左利きの方の場合は左の操作ハンドルにスタート/ストップ機能を設定することができます。



メモ：従来、右側の操作ハンドルにスタート/ストップ機能を、左側に針上下機能が設定されてきました。

操作ハンドルにラベルを貼り付ける



注意：操作ハンドルラベルを貼り付ける際、事前にハンドルの左右どちらに貼り付けるかを決めてください。いったん貼り付けたラベルを剥がすとスイッチを損傷します。

1. ラベルの裏紙を剥がし、操作ハンドルに貼り付けます。
2. オプションの後方操作ハンドルにも同じようにラベルを貼り付けます。

後方操作キット(オプション)



オンラインガイド：後方操作ハンドルの取り付けに関する詳細については、<https://youtu.be/2iJNHiljT6Q> を閲覧してください。

1. 4mm 六角レンチと 4 本の 4 mm 六角ネジを使います。
2. 操作ハンドルの 4 つのネジ穴をアマラ後方のネジ穴に合わせます。



3. ネジをはめて、4mm 六角レンチを使ってネジを締め、操作ハンドルを取り付けます。

4. RJ45 またはネットワークスタイルの電話コードで操作ハンドルとアマラを接続します。



5. 2.5mm 六角レンチを使って、4 本の小さなネジで後方スクリーンを後方操作ハンドルに取り付けます。

USB ミニ B コネクタをアマラの背面に接続します。もう一方の端は後ほど接続します。このケーブルがスクリーンの電源です。スクリーンの丸いソケットは使いません。



重要：前頁の「ラベルを貼り付けるには」を参照してください。



メモ：後方操作ハンドルと後方スクリーンを取り付けて接続を完了したら、電源コードを接続して電源を入れ、スクリーンを確かめてください。もしスクリーンに何も表示されなければ、各部の接続プラグを確かめてください。

タッチスクリーンを使ってみる

アマラには7インチのタッチスクリーンが正面に取り付けられます。後方操作ハンドルキットを購入すると2つ目のタッチスクリーンが付いてきます。

前方タッチスクリーンを取り付けるには

1. 後方にヒンジが取り付けられたスクリーンを取り付けるには、付属の4本の小さなネジ（4-40サイズ）とそのネジに合う小さなプラスドライバー（付属していません）が必要になります。

2. 4-40ネジをスクリーン背面の金属ヒンジのネジ穴に差し込み、アマラ本体側のスクリーン取り付けブラケット上のネジの位置を合わせ、小さなプラスドライバーを使って4本のネジを完全に締めます。



3. アマラ本体から出ているUSBミニBケーブル（90度角のプラグ付き）をディスプレイの底にあるソケットに差し込みます。ケーブルを通じて電源と信号がディスプレイに送られます。ディスプレイの右側のUSB接続ソケットはディスプレイとアマラのソフトウェアの更新時に使います。



➡ **重要：**ディスプレイの下部にあるオーディオと電源用のソケットは使いません。またディスプレイ左側のSDカードスロットも使いません。

➡ **重要：**プロスティッチャーをご購入の場合は、7インチのディスプレイの代わりにプロスティッチャーに付属しているタブレットを使います。タブレットコンピュータの詳細については、プロスティッチャーに付属の手順を参照してください。

オプションの後方スクリーンの取り付け



オンラインガイド: オプションの後方スクリーンの取り付けの詳細については、ビデオを閲覧してください。 <https://youtu.be/2ijNHiljT6Q>

1. 後方スクリーン、一方の端に 90 度コネクタの付いた USB ミニ B ケーブル、4 本の 2.5 mm 六角ネジ、そして 2.5 mm 六角レンチが必要です。



注意: 2.5mm の六角ネジがない場合は、4-40 ネジが使えます。

2. ネジをスクリーンの金属ヒンジの 4 つのネジ穴に差し込み、ネジを後方操作ハンドル上のネジ穴に合わせて 2.5mm 六角レンチでネジを締めます。



3. USB ミニ B ケーブルの 90 度プラグをスクリーンとアマラの後方パネルに差し込みます。



メモ: スクリーン右側の USB ポートはソフトウェアの更新時に使います。



糸コマ立てと糸案内棒

糸立て土台をアマラに取り付ける

1. 2本の小さな六角ネジ M4x10mm と糸立て土台を用意します。
2. ネジをアマラ本体のネジ穴に合わせ、2.5mm 六角レンチを使って取り付けます。



オプションのアクセサリー

ルーラーベース™

アマラでルーラーやテンプレートを使用する場合は、ルーラーベースを購入する必要があります。ルーラーやテンプレートを置くための広く安定したベースです。ルーラーベースとルーラー、テンプレートはオプションのアクセサリーになります。詳細は、<http://www.handquilter.com> を参照してください。

ルーラーベースを取り付けるには



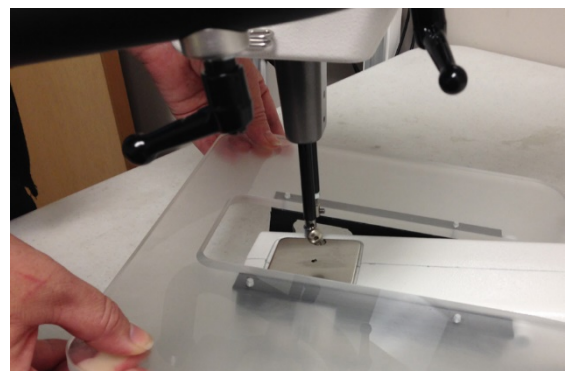
オンラインガイド：ルーラーベースの取り付け方とルーラーの使い方は、ビデオ「Ruler Base Install」：https://youtu.be/tedcvv_NB9g を閲覧してください。

1. アマラにはルーラーベース取り付け用の4つの突起があります。写真右
2. ルーラーベースを約30度下に傾けて、まず後方の突起に引っ掛けます。その後ルーラーベースの手前を下げて前方の突起に揃えて、後ろに向かって止まるまでスライドさせます。



ルーラーベースを取り外すには

ルーラーベースの手前をつかんで止まるまで手前に引き、持ち上げて取り出します。



ルーラーを使ってみる



注意：アマラでは5mm～6mm厚のルーラーのみを使用してください。薄すぎるルーラーはフリーモーション押えの下に潜り込み、針がルーラーに当たって針折れを起こしたり、ミシンを損傷します。常にルーラーベースを使ってルーラーを安定させて下さい。必ずルーラーに滑り止めを貼り付けて、ルーラーがキルト上で滑らない工夫をしてください。

ルーラーは常に平らに保ち、ルーラーがキルトの上で滑らないよう手でしっかり固定した状態で縫います。ミシンが動いているときにルーラーを動かしたり、ルーラーの上で指を移動したりを絶対にしないでください。手を動かすときは必ずミシンを止めてから動かしてください。

- ・ ルーラーを使ったキルティングには、次の「3点圧力」をお勧めします。
 1. フリーモーション押え側面に軽くルーラーを当てるように置きます。
 2. ルーラーに沿ってミシンを動かします。
 3. ルーラーがキルト上で滑らない程度に必要な圧力で押え付けます。強く押し付けすぎるとミシンを動かしにくくなります。

キルティングラインは、ルーラーのエッジから約6mm(1/4インチ)離れています。すべてのハンディキルターのルーラーの表示は6mmを基準にしています。



注意：手を止めたときに針目が動かないよう針停止を下に設定しておきます。

後方レーザーポインター（オプション）

レーザーライト（パントグラフ付）は、レーザーライト取付け棒に取り付けて使います。取付け棒用のネジ穴はミシン本体後方右側面にあります。

レーザーポインターを取り付けるには



オンラインガイド: オプションの後方レーザーライトの取り付け方に関する詳細についてはビデオ：<https://youtu.be/xb-lWao8gec> を閲覧してください。

1. ナットとワッシャーの付いた取付け棒、レーザーポインター、および8mmスパナを準備します。
2. ナットとワッシャーを取付け棒からいったん取り外します。ナットを取付け棒にセットし、ワッシャーをはめて、ネジ穴に指で回しながら取り付け、最後にナットを8mmスパナで締めつけます。



3. レーザー取付バンドを取付け棒にスライドさせ、反対側のふたつをつまみを締めます。



4. レーザーケーブルの端をレーザーポインター接続ソケットに差し込みます。差し込みはミシン後方から見て左側の四角いソケットです。



レーザーポインターは、赤いレーザー光線でキルトの上や、フレームのテーブル上に置いたパントグラフの表面を照らします。照射された赤い点はキルティングガイドとして使い、パントグラフのデザインをトレースしてキルティング、またはキルト上のパターンをトレースして同じパターンをキルティングするのに使います。

レーザーポインターは取付け棒に取り付けて使います。好きな方向に向けることが出来、反対向きに取り付けることも可能です。角度の調節は、黒いつまみを緩め位置を変えて行います。



重要：レーザーポインターに貼り付けられたラベルの矢印は、レーザーの向きを示しています。ラベルを剥がすとレーザーポインターの製品保証は無効になります。

レーザーポインターの操作と安全に関する説明

レーザーポインターを停止するには、プラグをミシン本体から抜きます。レーザーポインターを接続するときは、ポインターが下を向いていることを確かめてください。決してレーザーポインターを人の目に向かって照射しないでください。レーザーが照射されないときは、ミシン本体との接続を確認してください。

レーザーの焦点とサイズ

レーザーの焦点は、レーザーポインターのレンズを時計回りまたは反時計回りに回して合わせます。レーザーポイントの大きさは、レーザーポインターとパントグラフ表面からの距離によって変わり、レンズを回す方向で決まります。作品に応じてご自分で調節してください。

レーザーポインターご使用上の安全に関して

レーザーポインターを使うときは、以下の基本的な安全上の注意事項を守ってください。

- 決して目に光を照射しない
- 使わないときは必ずレーザーポインターのコードを抜いてオフにする
- おもちゃとして使わない
- 子供やペットの周りでレーザーポインターを使うときは細心の注意を払う
- このマニュアルの記載に従い、意図された目的のためのみに使用



メモ：レーザーポインターのケースにネジ山が見えないときは、ポインターのケースがずれているかもしれません。大きなマイナスドライバーを使ってポインター上の溝にネジ山が見えるまでケースを反時計回りにまわしてください。その後、指先で回転させ、光の焦点が合うように調節します。ドライバーを使うときはレンズに傷をつけないように細心の注意を払ってください。



注意：マニュアル内の説明、指示に従わないいかなる調整、調節、手順の変更などは、危険な放射線被曝をもたらす可能性があります。

アマラ上の USB ポート(付属)

アクセサリーの電源として使います。プログラミング用ではありません。前方スクリーンを使います。



オンラインガイド：ミシン本体上の USB ポートの使い方は、ビデオ「Machine Head USB Port」 https://youtu.be/OGu_SYrQpu4 を閲覧してください。

水平系コマホルダー（オプション）



オンラインガイド：水平系コマホルダーの取り付け方は、ビデオ「Spool Pin」、<https://youtu.be/FoqZssJZxP4> を閲覧してください。

アマラを使ってみる

電源スイッチ

アマラにはふたつの電源スイッチがあります。主電源スイッチは機械の後方に、もうひとつの手元スイッチは、アマラの前方左側にあります。

両方のスイッチの電源が入ると、アマラを動かせます。両方のスイッチがオフになったとき、アマラの電源は完全に切れます。作業を中断してアマラから離れるときは手元スイッチだけをオフにして、アマラの機能を停止しておくとう便利です。

アマラをスタートさせるには、まず主電源スイッチを0位置から1の位置に切り替えてオンにし、続いて手元スイッチをオンにします。主電源スイッチがオンになっていないと手元スイッチをオンにしても電源は入りません。手元スイッチをオンにしたままで主電源スイッチを切ることも出来ます。そのままの状態の主電源スイッチをオンにすると全ての電源がオンになります。



重要：1日以上アマラを使わない場合は、両方のスイッチをオフにして、更に電源コードをコンセントから抜いておくことをお勧めします。



重要：マニュアル5ページの「安全にご使用いただくために」を参照してください。

ソーイングライト

アマラには、キルティングエリアと手元を明るく照らすためのいくつかのLEDライトが装備されています。ミシン胴体のライトはキルティングエリアを、針元のリング照明は手元を明るく照らして作業をサポートします。釜付近を照らす照明も装備されています。さらに、白い糸や白いチョークを白い生地の上で見やすく照らすUVライトがオプションでご購入いただけます。

全ての照明のオン/オフはタッチスクリーン上で操作して行います。詳しい照明の操作方法はマニュアル46ページの「ツールバーオプション」の「ソーイングライト」を参照してください。

マグネット・ツールホルダー

アマラの胴体部左側にある首輪状のマグネットには、鉄製のハサミが付けられます。



オンラインガイド：マグネット・ツールホルダーの使い方はYouTube、<https://youtu.be/pbJdz-dvOHk> を閲覧してください。

針に関して

針はHQ社が推奨する純正針のみをお使いください。アマラは純正針を使うように調整されています。針のタイプは134工業用で、いかなる方向へのステッチも完璧にこなせる高性能な針です。

アマラは 134 工業用針を使用しています。家庭用ミシンの平らな側面を持つシャンクではなく、工業用の丸いシャンクの針を使います。

推奨する針以外を使うと次のような誤動作が発生します。

- 目飛び
- 針の破損
- 特に高速での糸切れ
- 糸の割れ、擦り切れ
- 布の破損



重要：定期的に針を取り替えましょう。新しいキルトごとに新しい針を使用することをお勧めします。針が曲がったり、針先が鈍くなったり、針先が傷んだときなどは必ず交換しましょう。



注意：針先が傷むとステッチの質が低下したり、キルトにダメージを与えたり、また機械に損傷を与えたりする可能性があります。

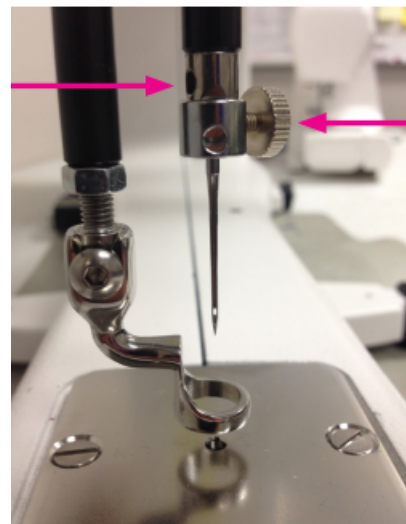
針を交換するには



オンラインガイド：針の交換方法は YouTube、Replacing the Needle、<https://youtu.be/E4VvU6rJIAI> を閲覧してください。

1. ハンドル上の針上下ボタンを押して針棒を最上点に上げます。
2. 電源スイッチをオフにします。
3. 針が取り外せるくらいまで針止めネジを緩めます。針止めネジが硬く締まっているときは付属品の 2.5mm六角レンチを使います。
4. 針を下方方向に抜き取ります。古い針は処分します。

針最上部確認孔



針止めネジ

5. 新しい針の前方にある溝が手前正面に向いていること、そして針の裏側のくぼみが後方、すなわちはずみ車側に向いていることを確認し、針が止まるまで上に差し込みます。針止めネジを指先の力でしっかり締め付けた後、2.5mm 六角レンチを使ってしっかり締め付けてください。ただし、あまり強く締め付け過ぎると針のスカーフ部分を傷つけたり、止めネジがつぶれてしまったりしますので気をつけましょう。



針の裏側：針穴のすぐ上のくぼみ



針の表側：上から下まで溝があります



注意：針がしっかり上まで挿入されていることを確認します。針止めには針の先端をのぞける穴が開いていて、この穴を通して針の先端が針止めに当たっていることを確認してください。針が十分に上まで届いていない状態で縫うと針が釜に当たって折れ、製品保証の効かない損傷を引き起こします。

6. 確認して、針止めネジを締めます。



注意：針止めネジを指でしっかり締めつけた後、付属品の 2.5mm 六角レンチを使ってしっかり締めます。高速でのキルティング中に針が緩んで折れたりしないようにするために大切です。きつく締めすぎると針止めや針止めネジを損傷したりしますので、強く締め付けすぎないで下さい。

針は工業用の丸針を使います。タイプは国際基準の DP x 5 という番手です。

針サイズ	糸のタイプ
#12(80) - #14(90)	モノフィラメント 100 番、シルク 100 番、ポリエステル 60 番
#16(100)	モノフィラメント：100 番、80 番、60 番、50 番、40 番、シルク、ポリエステル、コットン
#18(110)	コットン、ポリエステル：40 番、30 番
#19(120) - #21(130)	30 番、19 番、12 番



キルティングヒント： アマラには 16 番/100 のサイズが標準針として装備されており、ほとんどの糸や布に適応しています。トップステッチや装飾糸などは 18 番/110 や 21 番/130 などの太い針が適しています。厚手のキルト芯、デニムなどの厚地、キャンバス地、または緻密に織られた生地も太い針が適しています。

フリーモーション押え

アマラには 2 種類の押えが標準装備されています（工場からはフリーモーション押えが取り付けられて出荷。もうひとつはオープントー押え）。通常のキルティングにはフリーモーション押えを使います。オープントー押えは針元の視野を広げ、スティップリングなどのときに糸目が見えやすいのが特徴です。

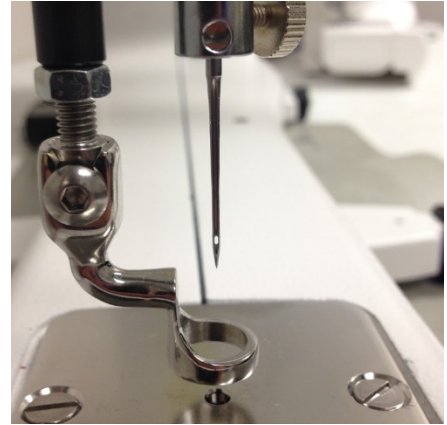


オンラインガイド：フリーモーション押えの着脱に関する詳細情報については、<https://youtube.be/NYaOD9me110> を閲覧してください。

押え金の着脱方法

アマラには、標準フリーモーション押えとオープン型フリーモーション押えの2種類の押え金が付属されています。通常は標準フリーモーション押えを使ってキルティングします。極細かなキルティングをするときや、頻繁に上糸を交換するときなどはオープン型が便利です。

1. 針上下ボタンを押して針を最上点に止めます。電源を切りま
す。押え金を取り外すには、押え止めネジを付属の2.5mm 六
角レンチを使って、押え金が滑り落ちるくらいにネジを緩めま
す。緩めすぎるとネジが外れます。
2. 押え金を取り付けるには、押え金をネジに合わせて下から押し
上げるようにしっかりと差し込みます。アクセサリーの2.5m
m六角レンチを使ってネジを締め付けます。
3. 取り付けした押え金の中心と針板の針穴を見比べて、針穴が押え
金の真ん中に位置していることを確かめます。



メモ：上糸掛けをするときには、針に糸を通す直前に、必
ず糸を引っ張ってみてスムーズに糸が引けるかどうかを確
かめましょう。糸が軽く引けるようならダイヤルテンショ
ンに糸が正確に掛かっていませんので、確かめてくださ
い。



重要：アマラには、家庭用ミシンのように押え上げやテンションを開放する装置が付いていま
せん。家庭用ミシンでは、押え金を上げると上糸ダイヤルテンションディスクが開放されて、上糸が
掛かりやすくする装置があります。アマラにはこのような装置はありません。上糸は常に圧力が掛
かった状態です。上糸ダイヤルテンションディスクが開放されることはありません。上糸を掛ける
際には、細心の注意を払って、上糸がダイヤルテンションディスクに深くセットされていること
を確かめてください。針に通った上糸を引き出したいときは、左手で糸先をしっかり持ち、右手指で
天秤と上糸ガイドの中間点を手前にたかって上糸を引き出します。

オプションアクセサリー：ハンディ押え

オンラインガイド：押えの交換方法に関しては、ビデオ「Changing Handi Feet」
<https://youtu.be/NYaOD9me110> を閲覧してください。



オンラインガイド：別売りの押えに関する情報は、ビデオ「HQ Live video HQ Live- Mary Beth
Krapil」 <https://youtu.be/AEREeMa9wDg> を閲覧してください。



ボビンと下糸調子の調節方法

アマラのボビンは、家庭用ミシンのボビンと比べ、長い下糸を巻けるMクラスのボビンを使っています。より長いキルティングを可能にし、下糸の交換頻度を少なくしています。

アマラには下糸残量警告機能が装備されています。詳しくは、54ページの「下糸残量アラーム」を参照してください。

下糸の巻き方

アマラには独立した下糸巻機が装備されています。使い方は下糸巻機に添付されている説明書をお読みください。



オンラインガイド：糸巻機の使い方に関する詳細は、ビデオ「Using Bobbin Winder」
<https://youtu.be/xDpQMYdzftI> を閲覧してください。

ボビンをボビンケースにセットします



オンラインガイド：ボビンのセット方法と糸調子の取り方に関する詳細は、ビデオ「Bobbin Tension」
<https://youtu.be/3j25v5P7a5U> を閲覧してください。



注意：ボビンケースの着脱時や、針の周りで作業するときには、必ずミシンの電源をオフにしてください。

1. ボビンをボビンケースに装着します。このとき糸の向きは右の写真のように時計回りです。
2. ボビンケースの糸道を通して糸を引きながらボビンケースのばねの下をくぐらせて、10cm以上引き出します。



ボビンの糸調子を確認する

ボビンの糸調子はステッチの糸締りの基本です。まずボビンのテンションを確認しましょう。



メモ：糸の番手によりボビンのテンションが変わりますので糸を交換したら必ず糸調子を確認します。

1. ボビンケース本体を親指と人差し指で持ちます。

2. ボビンケースのテンションが適切かどうかをテストするには、ボビンケースの開口部を上にして掌に乗せます。もう一方の手の指でボビンケースから出ている糸をつまんでボビンケースを引き上げます。指を前後に(上下ではなく)揺らしたときに、ボビンケースがぶら下がらずに掌の上にゆっくりとずり落ちる程度が適正です。

調節するには小さなドライバーで写真のようにネジを緩めるか、締め付けるかして調節します。時計回りに回すと強くなり、反時計回りに回すと弱くなります。ネジを回す前に、ネジの位置が時計の何時の方向をさしているかを覚えておいて調節します。ボビンの糸を入れ換えるたびにテンションをチェックしましょう。



下糸テンションを調節するには

- 先述の方法でボビンケースが掌の上から全然立ち上がらないようなら、テンションが弱すぎます。ネジを時計回りに回してテンションを強くします。ボビンケースのネジは少しずつ回すのが基本です。時計に見立てて、5分ずつ進めるような感覚でネジを締めて調節します。
- 掌からボビンケースを吊り上げ、前後に揺らしてもボビンケースが落ちていかないようなら、テンションが強すぎます。ネジを反時計回りに回してテンションを弱くします。ネジは時計に見立てて5分刻みで回してテンションを調節します。

ボビンケースをミシンに装着する

1. 針上下ボタンを押して針を最上点で止めます。手元スイッチで電源を切ります。
2. ボビンケースの壁の開口部を真上に向けた状態で、ボビンケースを釜の中の軸に中心を合わせてパチンとはまるまで押し込みます。このときボビンケースの折りたたみ式のつまみを起こして持たないように！
3. ボビンケースがしっかり取り付けられたかどうか、ボビンケースを指先で回転方向に動かしたり、はずみ車を手で回したりしてボビンケースが落ちてこないのを確かめます。ボビンケースから出ている下糸は10cmほど垂らしたままです。
4. 右の写真のように、ヒンジが右方向を向いているのを確かめてください。



メモ：ボビンケースの上の折りたたみ式のつまみを起こすとボビンケースの中のボビンを押し出すような力が掛かるので、この折りたたみ式のつまみはボビンケースを取り出すときにのみ使いましょう。ボビンケースの挿入はつまみを使わずにパチンと押し込みます。

上糸テンションの調節方法

アマラではほとんどのタイプの糸を使って縫うことが可能です。ただし、どのような高品質な糸を使っても糸調子が正しく調節されていないと綺麗なステッチは縫えません。糸それぞれに特徴があるので、糸を変える度にその糸に合った糸調子に正しくセットしましょう。

上糸の調子が強すぎると、パッカリング（布にしわがよる）状態になったり、縮んだり、糸が切れたりします。逆に、弱すぎるとステッチにたるみができて糸がループ状になったり、布の裏側で糸が絡んだりします。糸だけでなく、布やキルト芯に応じても糸の調子を調節する必要があります。



メモ：上糸の調子はボビンケースのテンションを正しくセットしてから調節しましょう。



メモ：同じブランドの同じタイプの糸でも色の濃さによってテンションが異なります。色が濃い糸は何度も染色工程を通過しており薄い色の糸よりも糸自体が太くなりテンションも強くする必要があります。



オンラインガイド：上糸調節に関する更に詳しい情報は、ビデオ「Adjusting Top Tension」<http://youtu.be/SsmIW0xpPo4> を閲覧してください。



重要：上糸のテンションを調節する前に、上糸がしっかりとダイヤルテンションのディスクの間に深くはまっていることや、ディスクから糸が浮き上がっていないかを、上糸を両手で引っ張って確かめてください。

上糸テンションを調節する

上糸ダイヤルテンションを回すと画面に表示された上糸の強さを表す数字が5単位で変化します。糸調子を合わせてみて、納得する状態が得られたら、このときの数値、上糸の種類と番手、そして下糸の種類と番手をメモするようにしてください。ご自分が使う糸のテンションの早見表を作っておくと便利です。



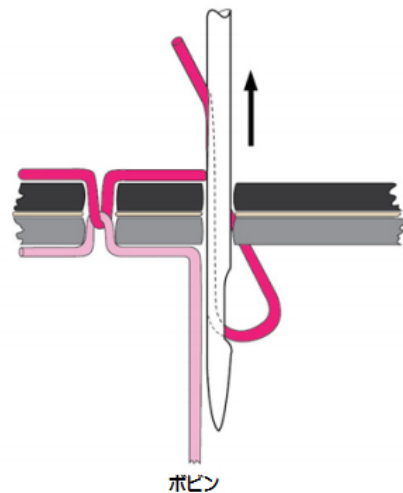
1. 10cm 角くらいのスクラップ布とキルト芯で試し縫いをしてみましょう。
2. 上糸テンションを強くするには、ダイヤルテンションのつまみを時計回りに回します。上糸テンションを弱くするには、ダイヤルテンションのつまみを反時計回りに回します。ボビンケースのテンションの調節と違って、上糸の調節は、使う糸により上糸ダイヤルテンションのつまみを 1/4 回転～4 回転ほど回さなければならないときがあります。
3. ステッチバランスが綺麗にとれているときは、上糸と下糸がキルトの3層の間で交わっているような状態になっています。



糸調子のチェック方法

下糸テンションの調整は簡単です。

1. まず 30 ページの説明をよく読んで下糸を調節しましょう。
2. 捨て布で縫ってみて上糸の調子もチェックします。
3. ステッチの状態が A のようなら上糸のテンションが強すぎます。ダイヤルテンションを反時計回りにまわして上糸のテンションを緩めます。
4. ステッチの状態が B のようなら上糸テンションが弱すぎます。ダイヤルテンションを時計回りにまわして上糸の調子を強くします。



ホビン

上糸テンション強すぎる/下糸テンション弱すぎる

A



上糸テンション弱すぎる/下糸テンション弱すぎる

B




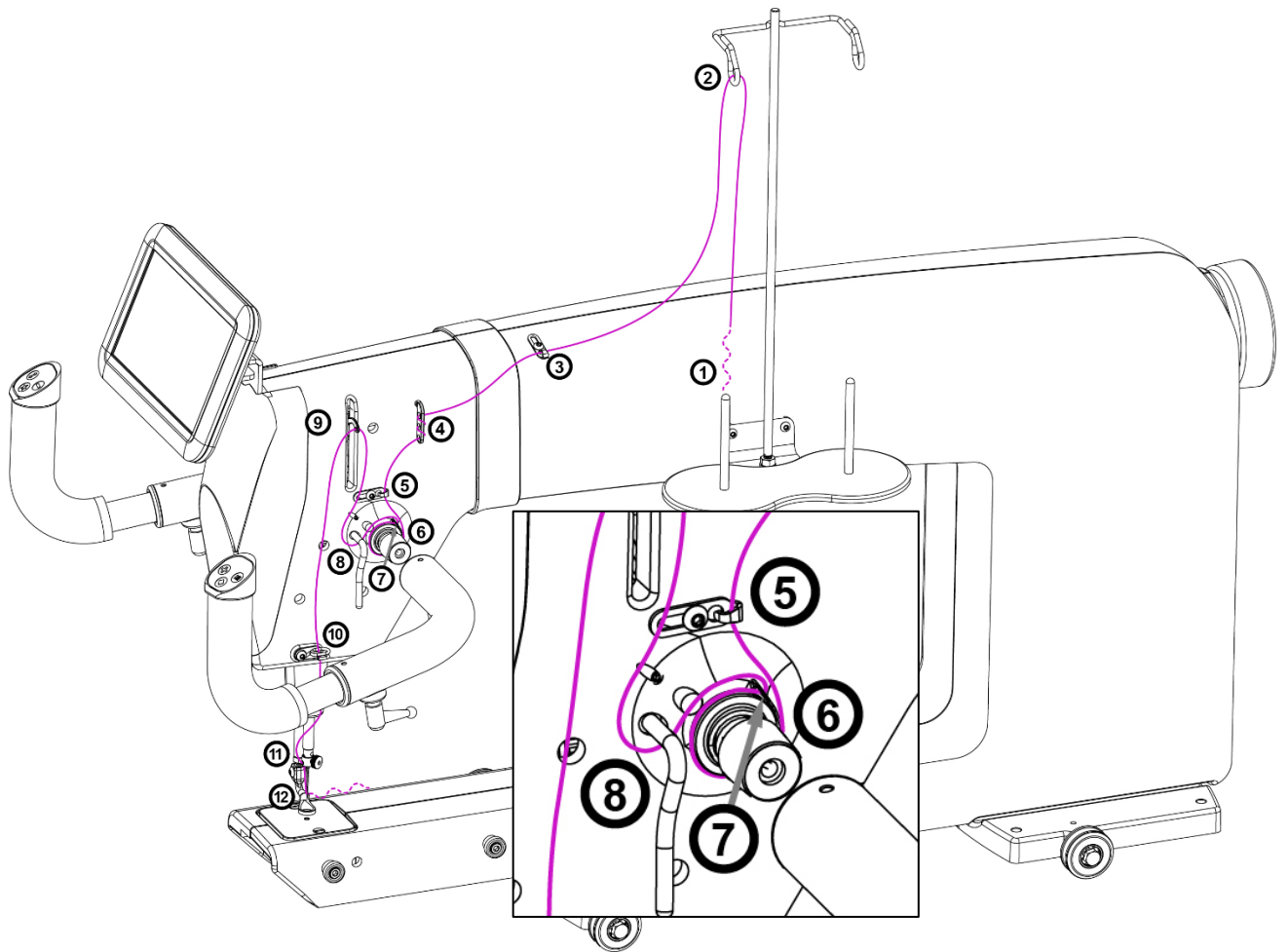
上糸の掛け方

糸は常に品質の良い糸を使いましょう。古くなった糸は切れやすくお勧めしません。

糸掛けの順番（次ページの図参照）

1. 糸立て土台①に糸コマをセットします。家庭用ミシンの糸コマを使うときは必ず糸コマに切り込まれた糸端止めのカットが下に向いていることを確かめてください（逆にするとソーイング中に糸が切り込みに引っ掛かり上糸の流れを止め、糸切れや、針折れを起こします）。糸コマから糸を引き出し、糸案内棒のガイド②に糸を掛けて、上糸ガイド③に糸を通します。
2. 続けて糸ガイド④の一番上の穴に後方（図では右側）から通して、巻くようにして2番目、3番目の穴に通します。このとき糸がクロスしないように注意します。どのタイプの糸に対してもこの糸の通し方をしてください。ただし、非常に繊細な糸やメタリック糸などで糸切れを頻発するときは、ひとつか、ふたつの糸ガイド穴に通します。

 メモ：④の糸案内の3つの穴に糸を通すのは糸のよりを戻すためで、この糸ガイドを通すと、糸がよれたままダイヤルテンションに上糸が引き込まれて糸のテンションが変わるのを防ぎます。通常、コーンタイプ（工業用糸タイプ）の糸コマを使うときには必ずこの3つの穴を通して糸を掛けてください。繊細な糸や切れやすい糸では、穴をひとつ、またはふたつ飛ばしてもかまいません。



3. 続けてダイヤルテンションの真上にある糸ガイド⑤に掛けて、次にダイヤルテンション⑥に掛けます。



重要：上糸をダイヤルテンションの2枚のディスクの間に完全に奥深く入れます。十分深く入らず、浮いているような状態では糸調子がうまく取れません。キルティングミシンは、家庭用ミシンのように押え金を上げると上糸ダイヤルテンションディスクが自動で解放されるような構造になってませんので、必ず上糸を両方の手を使って引っ張り上げるようにして上糸ダイヤルテンションに糸を掛けてください。

4. 次に上糸ダイヤルテンションのチェックスプリング⑦に上糸を引っ掛け、下方に引き下げ、上糸ガイド⑧に下から上に掛けます。
5. 上糸ガイド⑧から糸を上引っ張り上げて、天秤⑨の穴に後ろから前（図では右から左）に向かって糸を通し、そのまま引き下げて上糸ガイド⑩に通し、糸ガイド⑪に通します。
6. 上糸を針まで引き下ろして、最後に上糸を針に前から後ろに、図では左から右に通します。針の周りで糸が絡まっておらず、針の前方の溝に糸が収まっていることを確かめてください。



オンラインガイド：糸掛けに関する詳細情報は、「Threading the Machine」、<https://youtu.be/CZs4Jw6b0bU> を閲覧してください。

キルティングで縫ってみる

キルトの準備

1. ミシンの掃除、注油がされ、新しい針に替えられていることを確認し、さらにフレームの周りに邪魔になるものが無いことを確認します。
2. 下糸を選んで必要な量の糸をボビンに巻き、ミシンにセットします。このとき下糸がボビンケースから10cm以上引き出されていることを確認してください。短いと下糸が上がってきません。
3. ミシンの主電源をオンにし、手元スイッチもオンにします。
4. ボビンテンションを確かめて、上糸を掛けます。
5. キルトをフレームにセットします。キルトの端を利用して試し縫いし、糸調子を確認します。

フレームの準備



オンラインガイド：フレームをクイヤービュー・モードでキルトをセットするには、ビデオ「HQ Studio2 Frame ClearView Load」、<https://youtu.be/MkmK1ruszvU> を閲覧してください。



オンラインガイド：フレームを標準モードでキルトをセットする詳細には、ビデオ「HQ Studio2 Frame Standard mode Load」：<https://youtu.be/dp-SotW27U4> を閲覧してください。

下糸を引き上げるには



オンラインガイド：キルティングの開始と停止の詳細、また、ハンドルバーボタンの操作方法は、「Bringing Up the Bobbin Thread」：https://youtu.be/7v_iNc-nwxY を閲覧してください。

1. 針に上糸を通したら、電源スイッチをオンにします。ミシンをスタート位置に移動します。
2. 左手で上糸をしっかり持って、操作ハンドルの針上下ボタンを押すと針が下がり、もう一度押すと針が上がって、下糸を引き上げてきます。
3. 上糸を持ったままでミシンを5～6cmほど横方向か後ろ方向に動かします。
4. 上糸と下糸を指でつまんで適当な長さまで引き出して、ミシンをキルティングのスタート点に移動し、針上下ボタンを押し続けて細かいステッチを4～6針縫って留め縫いをします。または画面上の自動留め縫いボタンを押した後、ミシンをわずかに動かすと自動で留め縫いします。スタート/ストップボタンを押してキルティングを開始します。





メモ：自動留め縫い機能を操作ハンドル上の「星形」または「ひし形」ボタンのいずれかに機能をカスタマイズしている場合は、そのボタンを押します。操作ハンドル上のボタンの機能の詳細については、マニュアル 56 ページの「操作ハンドルボタンオプション」を参照してください。

キルティングをスタートまたはストップするには

- 操作ハンドル上のスタート/ストップボタンを押して、ミシンをスタート。もう一度押すとストップします。



キルティングの開始と終了時に自動留め縫いをするには



オンラインガイド：キルティングの開始と終了に関する詳細、または操作ハンドルのカスタマイズに関する詳細は、ビデオ「Programming Handlebar Buttons」：
<https://youtu.be/4VK6R4STUuw> を閲覧してください。

- 自動留め縫いを使うには、画面上の自動留め縫いボタンをタッチし、わずかにミシンを移動させるとミシンは留め縫いを実行し、自動で止まります。詳細については、マニュアル 59 ページの「自動留め縫い機能」を参照してください。



フリーモーションキルティング



オンラインガイド：異なるタイプのフリーモーションキルティングは、ビデオ：Free Motion Quilting: <https://youtu.be/xmNSDMwaq6Q> を閲覧してください。



キルティングヒント：キルティングするときは、腕をリラックスさせて軽く操作ハンドルを握ります。操作ハンドルをきつく握りしめると体に力が入りすぎて、スムーズなキルティングラインを縫えなくなります。目は針元を見るのではなく次に移動していく方向の 10cm くらい先を見るようにします。HQ Studio2 フレームに組み込まれたアマラは、滑らかな動きを約束します。

マイクロキルティング（スティップリング）

操作ハンドルをスティップリング用に調節する詳細説明は、「スティップリング用に操作ハンドルを調節するには」の項を参照してください。



オンラインガイド：マイクロキルティンの詳細については、ビデオ：Micro Quilting : <https://youtu.be/TZNYy84Cak-M> を閲覧してください。

プロスティッチャー[®] 自動キルティング (オプション)

プロスティッチャーは、コンピュータによるキルティングの自動化を提供するものです。ソフトウェアは、アマラに取り付けられたタブレットコンピュータで正確なキルティングをシンプルな操作で実行されます。

アマラでプロスティッチャーを使ってみる

アマラにプロスティッチャーを装着すると、プロスティッチャータブレットがアマラ標準スクリーンの役割をします。アマラ標準スクリーンは、プロスティッチャータブレットに統合されます。プロスティッチャータブレット上でアマラの標準スクリーンが表示され、同じように機能します。プロスティッチャーを使うときは、アマラの機能をプロスティッチャーが置き換えて実行することがあります。プロスティッチャーの詳細についてはプロスティッチャーのユーザーマニュアルを参照してください。

まずアマラをオンにし、次にプロスティッチャータブレットをオンにします。プロスティッチャーソフトウェアとアマラの標準機能がスタートします。



メモ：アマラの標準機能はプロスティッチャーのタブレット画面でも同じように動作します。

アマラとプロスティッチャーが実行されている間、メニューバーが画面の左上隅に表示されます。このメニューバーからプロスティッチャーとアマラ、及びアート&ステッチャーの使い分けをボタンで操作します。画面上にキーボードを開くことも出来ます。

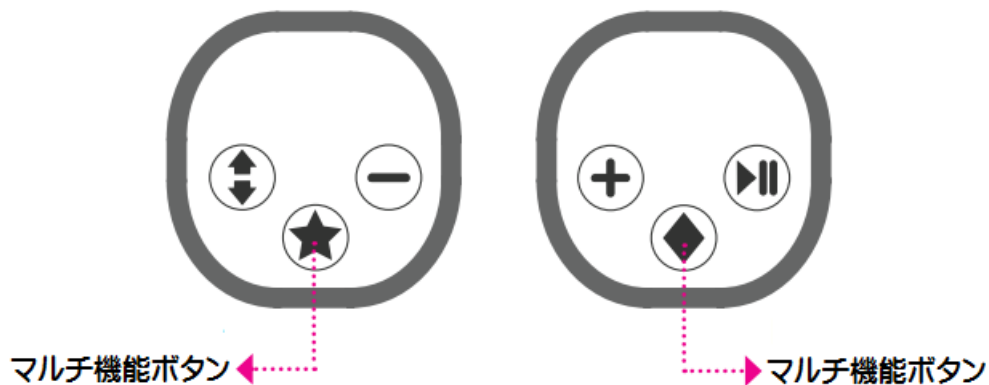


閉じる キーボード HQアマラ プロスティッチャー アート&
ステッチャー

プロスティッチャーのギアを外すことによって、マニュアルのフリーモーションキルティングに切り替えることが出来ます(プロスティッチャーで、プロステッチャータブを選択し、歯車を外すギアボタンを選択します)。

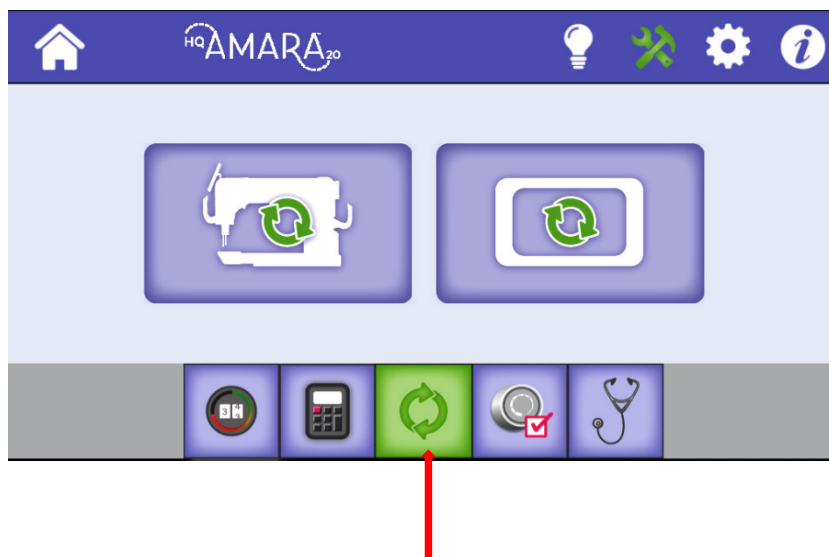
プロスティッチャーで操作ハンドルをカスタマイズするには

プロスティッチャーの4つの機能で操作ハンドルの「星形」と「ひし形」のマルチ機能ボタンをカスタマイズすることができます。キルティング領域(エリア)を作るときに、「星形」ボタンは2ポイント領域を、「ひし形」ボタンはマルチポイント領域を作り出します。フリーハンド記録機能を使うと「星形」ボタンは記録の開始と終了機能を実行します。キルティングラインを作るときに使うMark機能を選ぶと「ひし形」ボタンはライン上にポイントを作ります。「星形」と「ひし形」ボタンがプロスティッチャー上でどのような動作をするかの詳細はプロスティッチャーのマニュアルを参考にしてください。



アマラのソフトウェアの更新

プロスティッチャータブレットからアマラを実行している場合、アップデート画面にはアマラ用のアイコンが表示されます。ツールメニューのアップデートオプション機能を使ってアマラのソフトウェアを更新します。プロスティッチャーの最新ソフトウェアバージョンを使ってアップデートしてください。



タッチスクリーンの説明

アマラには前方と後方の操作ハンドルに液晶タッチスクリーンが装備されています。どちらも同じ機能を備えています。例えば、

- ステッチレギュレーターモードとフリーモーションモードを切り替える
- アマラの操作を実行する
- 1枚のキルトを作るのに要したステッチ数を記録する
- キルトを仕上げるのにどれくらいの時間がかかったかを記録する



メモ：プロスティッチャーを使っている場合は、プロスティッチャーのタブレットを使ってアマラを操作します。

ボタンがオンのときは緑色で表示され、スクリーンは黒いテキストまたはグラフィックを表示します。ボタンがオフのときは紫色で表示され、スクリーンは明るい灰色のテキストやグラフィックを表示します。ボタンをタッチしてオンまたはオフを選びます。情報を入力するためのポップアップボックスが開き、続きの機能選択画面が表示されます。

M：マニュアルステッチモード

R：ステッチレギュレーターモード

ボタンがオンの時：緑色



ボタンがオフの時：紫色

ボタンを押しても反応しないときは、別の機能が進行中のため、表示は灰色になります

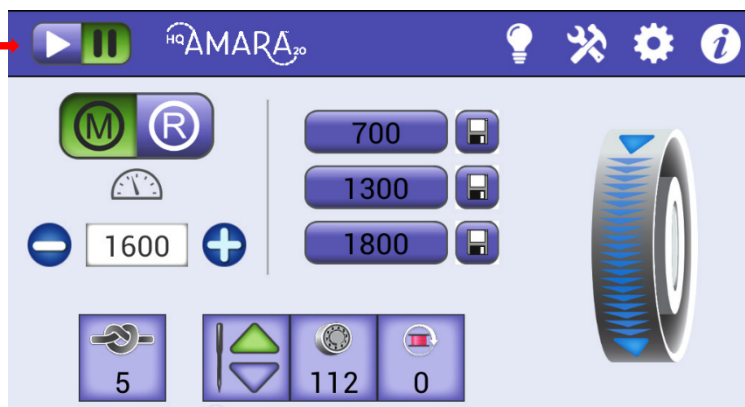


この表示の状態のときは、この機能ボタンは使えません

メイン画面の説明

アマラのメイン画面からすべての機能に迅速にアクセスできます。

これらのボタンはアマラがステッチしているか、一時停止中かを表示します。
右図では、一時停止アイコンが緑色で表示されているので、一時停止中を示しています。



すべての画面にこのツールバーが表示され、頻繁に使う機能にすばやくアクセスできます。アイコンを選ぶとそのアイコンは白色から緑色に変わります。



このアイコンをタッチして照明機能画面を開きます。詳細は、46 ページの「ソーイングライト」を参照してください。



このアイコンをタッチしてツール機能画面を開きます。詳細は、47 ページの「ミシンのツール画面」を参照してください。

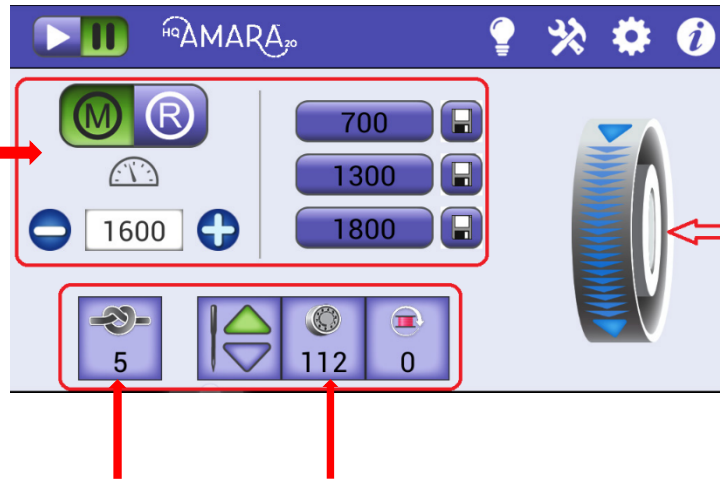


このアイコンをタッチして設定画面を開きます。詳細は、53 ページの「ミシンの設定」を参照してください。



このアイコンをタッチすると、システム情報、糸掛けガイド、針/糸ガイドなどが表示されます。詳細は、60 ページの「インフォメーション画面」を参照してください。

画面上のこの部分でステッチモードを設定します。イラストではマニュアルモードが緑色で表示されています。数字の1600はステッチ数/分を示し、右側の3段の数字、700、1300、1800はプリセットのステッチ数/分を表示しています。どのステッチモードを選ぶかにより表示内容が変わります。



スクリーン上のはずみ車のアイコンは画面上でははずみ車を操作するためのものです。上から下にスワイプします。一方方向にだけ機能します。

ステッチモードに関係なくこれらのボタンは常に表示されています。



留め縫いアイコン：キルティングを始める前と終了するときこのボタンを押すと留め縫いを実行します。ボタンをタッチしてミシンをわずかに動かすと小さな縫目で留め縫いします。アイコンの下部の数字は何針留め縫いをするかを指定しています。

留め縫いの針数を決める詳細方法は59ページの「留め縫い機能」を参照してください。



針停止位置選択アイコン：ミシンを止めたときの針の位置を上、または下に選べます。選んだ停止位置が緑色三角で表示されます。

このボタンをタッチしても針は上下しません。



下糸残量リセットアイコン：下糸残量警告機能を使っているときは、糸をいっぱいに巻いた新しいボビンセットした際にこのアイコンをタッチして、リセットします。アイコンに表示された数字は糸が減るに従い変化し、残量を知らせます。数値がゼロに近づくとき下糸の残量が少ないことを知らせます。詳細は54ページの「新しいボビンの設定とボビン容量の設定」を参照してください。



重要：このボタンは、糸がいっぱい巻かれたボビンに交換するときだけタッチします。下糸残量警告画面を開きたいときは、「ツールバーボタン」>「ミシンの設定」>「下糸残量警告」を選びます。

スクリーン上のはずみ車を使ってみる



ミシン後方のはずみ車を実際に操作する代わりに画面上ではずみ車を操作できません。

指で画面上のはずみ車の画像を上から下にゆっくりなぞるとはずみ車が回り、針が動きます。



メモ：糸が釜の中で切れてミシンをロックしたときなどに絡んだ糸を取り除くときなど、必要に応じて、はずみ車の画像を下から上になぞることも出来ます。

ステッチモード

アマラではふたつのステッチモードを選べます。

- ステッチレギュレーターモード（クルーズモード/プレジジョンモード）
- マニュアルステッチモード（しつけ縫いモードを含みます）

マニュアルステッチモード

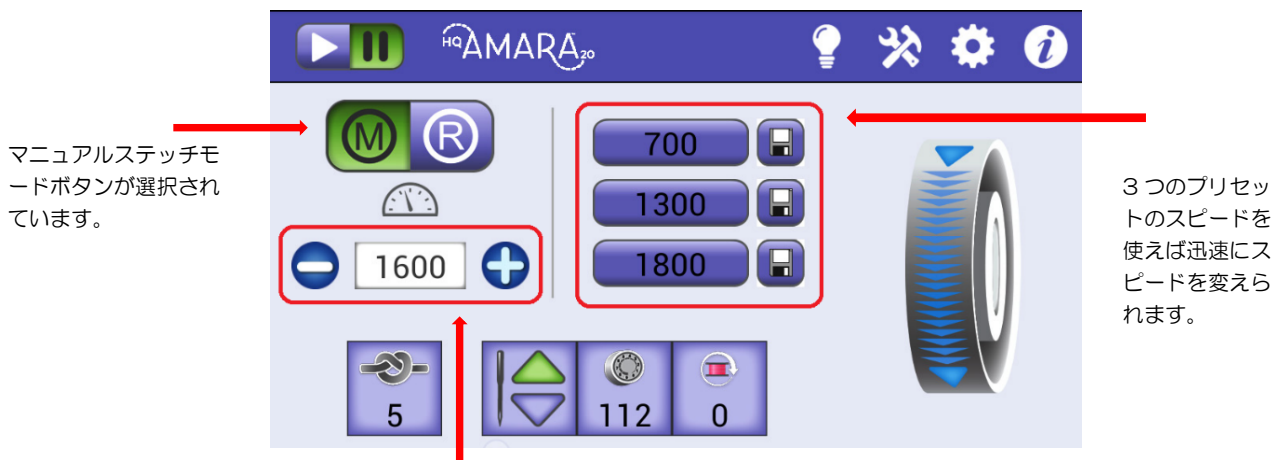
最初に自分で設定したスピードでミシンは縫い続けます。縫目長さはいかにミシンをゆっくり、または速く動かすかによって決まります。縫目長さを揃えるには、ミシン本体を一定の速さで動かし続けなければなりません。あなたにピッタリのミシンのスピードを見つけて、フリーモーションキルティングを楽しんでください。

マニュアルステッチモードを使うには



オンラインガイド：「Micro Quilting」：<https://youtu.be/ZNYy84Cak-M> を閲覧してください。

- マニュアルソーイングモードを選ぶには画面上の（M） ボタンをタッチします。プラス(+)またはマイナス (-) ボタンをタッチしてソーイングスピード（針数/分）を決めます。もしくは、画面上のプリセットスピードのいずれかを選択してスピードを決めます。画面上の（+） ボタンと（-） ボタンは、ハンドル上の（+） ボタン、（-） ボタンと同じです。



マニュアルステッチモードボタンが選択されています。

3つのプリセットのスピードを使えば迅速にスピードを変えられます。

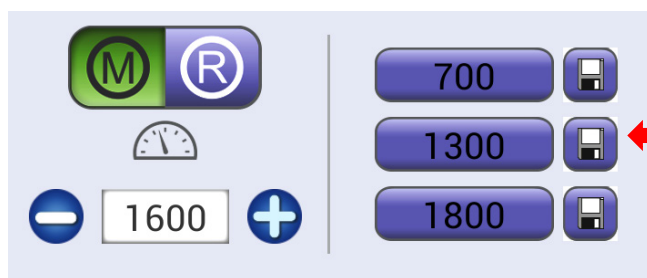
現在のステッチ速度を表示しています。速度を上げるにはプラス (+) ボタンを、下げるにはマイナス (-) ボタンをタッチし続けます。このスピードを保存したいときはプリセットボタン右横の保存ボタンをタッチします。

マニュアルステッチモードのプリセット速度を設定するには

マニュアルソーイングモードの3つのプリセット速度は、メイン画面から迅速にスピードを選ぶだけでなく、ご自分で設定・保存ができます。3つのプリセット速度には、例えば、

- 一番よく使うスピード
- ルーラーワーク用のスピード
- ステップリング用のスピード

というように保存すると便利です。



新規スピードを保存するには保存ボタンをタッチします

1. （M） ボタンをタッチしてマニュアルステッチモードを選びます。前回使ったスピードが表示されます。
2. プラス (+) または（-） ボタンを押してスピードを調節します。
3. プリセットボタンの横にある保存ボタンをタッチします。



キルティングヒント：マニュアルモードで自分に合ったキルティングスピードを見つけるには、ミシンを中速(1000 針/分など)に設定し、ミシンを動かす動作がスムーズになるまで練習します。ミシンを速く動かすと針目は大きく、ミシンをゆっくり動かすと針目が小さくなります。ご自分が気持ちよく縫えるスピードにミシンの速度をセットします。ミシンをゆっくり動かしすぎると、針目が詰まってキルトが縮んだり、糸切れを起こしやすくなります。一番快適に縫える速度を見つけてください。

ステッチレギュレーターモード

2つのステッチレギュレーターモードがあります。

- クルーズ（巡航）モード
- プレジジョン（正確）モード

クルーズ（巡航）モードを使ってみる



オンラインガイド：クルーズ（巡航）モードの使い方の詳細は、ビデオ「Micro Quilting」
<https://youtu.be/ZNYy84Cak-M> を閲覧してください。

- ステッチレギュレーターモードボタン（R）をタッチして、クルーズ（巡航）モードボタンをタッチします。



操作ハンドルのスタート/ストップボタンを押すと、画面左上隅のステッチインジケータが緑色になり、針が設定した速度に準じて動き出します。ミシンを動かすと針が動き、設定した針目で縫い始めます。このモードではミシンを止めても針は操作ハンドルの停止ボタンを押すまで動き続けます。このときの速度は、ご自分が設定した巡航速度、上図では右の「275 針/分」という数字が該当します。ハンディキルター社では「200 針/分」の設定で始めることをお勧めします。クルーズモードでは操作ハンドルのスタートボタンを押したら2～3針留め縫いをしてから動かし始めましょう。



キルティングヒント：クルーズ（巡航）モードを利用すると、星形のような鋭角のコーナーやハートのポイントをシャープに縫うのに便利です。ミシンを止めても針は巡航速度で縫い続けますので、角で3～4針留め縫いをして鋭い角度を出します。

プレジジョン（正確）モードを使うには



オンラインガイド：プレジジョン（正確）モードの使用方法的詳細については、ビデオ：「Micro Quilting」：<https://youtu.be/ZNYy84Cak-M> を閲覧してください。

- ・レギュレーターモードボタン（R）をタッチし、プレジジョン（正確）モードボタンを押します。



プレジジョンモードでは操作ハンドルのスタートボタンを押しても、ミシンを動かすまで針は動きません。画面左上隅のステッチインジケータは緑色に変わりオンを示しますが、ミシンは自動で動きません。ミシンを動かすとステッチを始めます。ミシンを止めると針が止まります。再びミシンを動かすとステッチを始めます。針を止めるには操作ハンドルのスタート/ストップボタンを押します。



メモ：プレジジョン（正確）モードを使っているときに、ミシンの動きを止めてスタート/ストップボタンを押さずにそのままにしておくと、2分後にタイマーが作動してタイムアウトとなり、ミシンは停止ボタンを押した状態になります。画面には「キルティングを再開するにはスタートボタンを押してください」とメッセージが表示されます。



注意：レギュレーターモードを使っている状態で、針やボビンを交換したり、針の周りで作業をしたりすると、不必要なステッチをキルト上に縫ったり、けがの原因になります。必ず電源をオフにしてください。



キルティングヒント：プレジジョン（正確）モードはルーラーワークに便利です。ルーラーに沿ってミシンを動かして縫い、ルーラーの位置を移動するときはストップボタンを押さなくてもミシンを止めると針は一時的に停止します。ルーラーの位置を変えて再びミシンを動かすと、針も自動的に動き始めます。不均一なステッチを避けるためにもプレジジョン（正確）モードは便利です。またプレジジョン（正確）モードはフェザーキルティング時のバックトラッキングなどのオーバーステッチにも便利です。



キルティングヒント：レギュレーターモードでは、ミシンのモーターはミシンの移動速度に合わせて、指定されたステッチの長さを縫うために加速と減速を繰り返します。極端なミシンの移動や不規則な動きに対しては、レギュレーターが順応できずにイレギュラーなステッチを縫うことになりかねません。スムーズなミシンの移動が綺麗なステッチを生み出します。



キルティングヒント：レギュレーターモードでミシンを極端に早く動かしたときに警告音が鳴ります。これはステッチの長さを自動で制御できない速度でミシンを移動していることへの警告です。この警告音が聞こえたらミシンの移動速度を緩めてください。

しつけ縫いモード

アマラでは5種類のしつけ縫いの長さが選べます。しつけ縫い機能はステッチレギュレーターモードでのみ使えます。

ステッチの長さは、1インチあたり24針から5針の範囲で選べます。画面上でステッチカウントのマイナス（-）ボタンをタッチし続けると5の後にしつけ縫いのB1/4”、B 1/2”、B1”、B 2”、およびB 4”が表示されます。

B1/4”	1/4インチ（約6ミリ）のしつけ縫い
B1/2”	1/2インチ（約1.2センチ）のしつけ縫い
B1”	1インチ（約2.5センチ）のしつけ縫い
B2”	2インチ（約5センチ）のしつけ縫い
B4”	4インチ（約10センチ）のしつけ縫い



オンラインヒント：しつけ縫いの詳細については、ビデオ：「Basting a Quilt」
<https://youtu.be/Zxv9VJPspDg> を閲覧してください。

キルトにしつけを掛ける





1. レギュレーターモードボタン（R）をタッチします。
2. 画面上のステッチ/インチボックスの隣にあるマイナス（-）ボタンを5針/インチになるまで押し続けます。更にマイナスボタンを押すとしつけ縫いのオプションが表示されます。B1/4”、B1/2”、B1”、B2”、またはB4”のいずれかを選びます。
3. スタートボタンを押してしつけ縫いを始めます。キルト上でミシンを動かすと、移動距離を自動的に計算してあなたが選んだしつけ長さで縫います。



キルティングヒント：キルトの端にしつけを掛けたいときは、しつけ縫いを選ばないで4針/インチや、8針/インチの長さを使いましょう。これは、押え金がキルトトップとキルト芯の間に潜り込むのを防ぎます。

ツールバーオプション

ツールバーは常に画面の右上隅にあります。

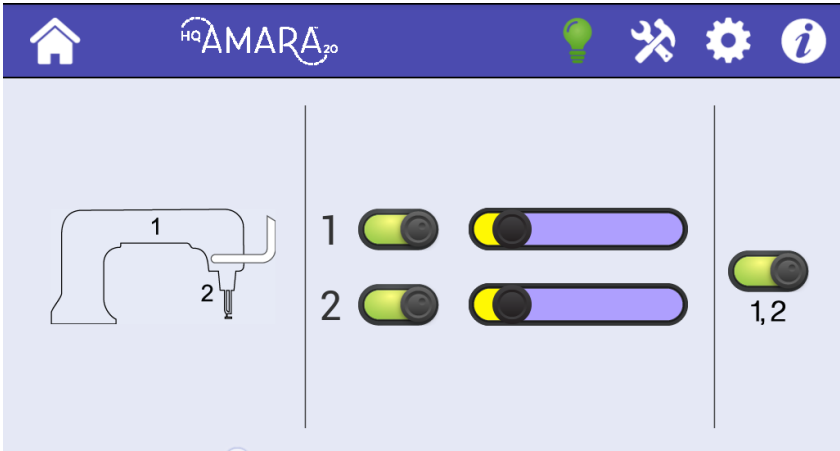
照明の操作		ミシンの設定を開く	
			
	ツールを開く		ミシン情報を表示

ソーイングライト

アマラには、胴体下、針元、および釜付近の3つのライトが装備されています。

照明の操作方法

照明画面を開くには、画面右上のツールバー上のランプアイコンをタッチします。アイコンをタッチすると表示が緑色に変わり、照明画面が開きます。



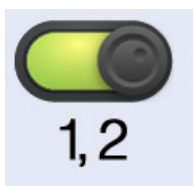
ライト1は胴体部に内蔵

ライト2は針元照明

ランプアイコンをタッチすると緑色に変わります。



ライトが点灯すると、オン/オフボタンがカラー表示になります。オフのときは灰色で表示されます。ボタンを素早くタッチしてライトをオン、またはオフにします。



オールライトボタン (1,2) をタッチすると、すべてのライトをオン (またはオフ) にします。



スライダーを使うと、ライトの明るさを調節できます。黒いドットをタッチしてドラッグします。明るくするには右に、暗くするには左にドラッグします。ライトを消してもセッティングは記憶されます。

ミシンのツール画面

ツール画面を開くには、ツールバーのツールアイコンをタッチします。ツールアイコンが緑色に変わります。

ツールボタンが選択されている状態（緑色）



以下に表示された5つのツールから選択します。

キルティングタイマー、ステッチカウンター、キルティングアラームを設定します	電卓を開きます	マシンのソフトウェアを更新します	分解してイージーセッテンションをゼロにリセットします	診断画面を開きます
---------------------------------------	---------	------------------	----------------------------	-----------

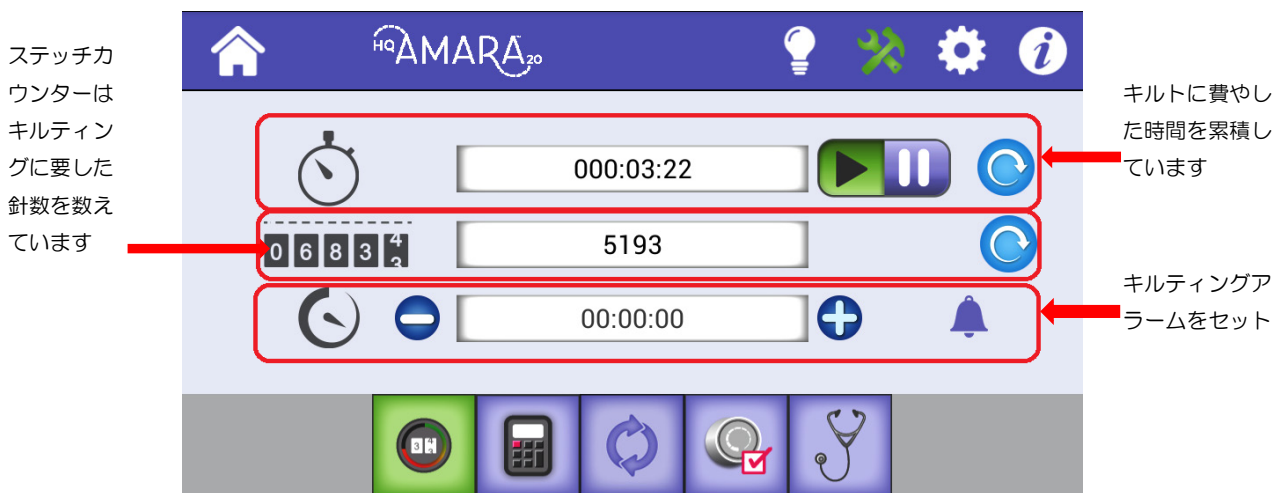


オプションのボタンをタッチすると、ボタンの色が緑色に変わり、画面が変わります。次にツールアイコンをタッチすると、最後に使用したツールオプションが表示されます。

キルティングタイマー、ステッチカウンター、キルティングアラーム

タイマーは、キルトをする予定の時間を設定すると、その時間が過ぎたときにアラームが鳴り知らせてくれます。またステッチ数を計算します。

- ・ ツールバーのツールアイコンをタッチします。次にタイマーボタンをタッチします。ホームボタンを押すとメイン画面に戻ります。



キルティングにどれだけの時間を費やしたかを計るには

キルティングタイマーを使って、キルティングに掛かった実際の時間を計れます。ミシンがオンになっていても動いていない時間は計測に入りません。ストップウォッチのようなものです。



1. 新しいキルトでキルティングを始めたら、Reset(リセット)ボタンをタッチします。
2. キルティングに掛かる時間を計るには、Play (プレイ) ボタンをタッチします。キルティングを続けます。いったんキルティングを終えるときはPause (休止) ボタンをタッチします。
3. キルティングを再開するとき、Play (プレイ) ボタンをもう一度タッチします。キルティングタイマーは、先にカウントしていた時間に追加して時間を計測します。

キルティングに要したステッチ数を計測するには

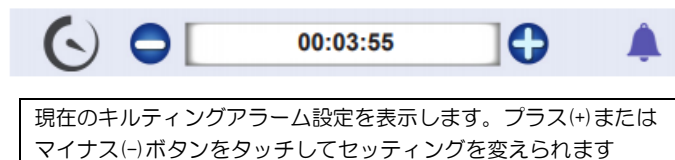
キルティングしたステッチ数を計測するにはステッチカウンターを使います。

- ・ 新しいキルトを開始するとき、カウンターをゼロにするにはReset (リセット) ボタンをタッチします。生涯稼働時間数を見るにはインフォメーション画面を参照してください。



キルティングアラームのセットの仕方

キルティングアラームは、キルティングする時間を決めてセットすると、その時間が経過したときにアラームで知らせてくれます。アラームをセットすると、時間をカウントダウンし始めます。キルティングタイマーとは異なり、このアラームは経過する時間を計測するもので、キルティングの時間ではありません。下の例は3分55秒後にアラームが鳴ることを表示しています。



アラームアイコンをタッチして、キルティングアラームをオンまたはオフにします。緑色の場合オンを表示しています

1. アラームを鳴らしたい時間、例えば3分55秒後なら00:03:55と入力します。アラーム設定を変更するには、プラス(+)、またはマイナス(-)ボタンをタッチすると設定が1分ずつ増減されます。
2. キルティングアラームをオンにするにはアラームアイコンをタッチします。セットした時間が経過するとアラームが鳴ります。

電卓機能

アマラには基本的な電卓機能が用意されています。通常の電卓と同じように使います。たし算(+)、ひき算(-)、かけ算(X)、わり算(÷)

- ツールバーのツールボタンをタッチします。電卓ボタンが表示されるので、タッチして計算します。戻るにはホームボタンをタッチしてメイン画面に戻ります。



ツールボタンが選択されている(緑色表示)

ソフトウェアの更新

ハンディキルター社は、必要に応じてミシンのソフトウェアの更新（アップデート）プログラムをリリースします。この更新プログラムはミシンの機能に追加された最新の機能を追加し更新します。更新プログラムがリリースされると、インターネットに接続されているコンピュータを使用して、更新されたファイルをUSB ドライブにダウンロードします。

- 更新されたソフトウェアをUSB ドライブにダウンロードした後、USB ドライブを正面ディスプレイ下部のUSB ポートに差し込みます。



- 正面ディスプレイのツールバーのツールボタンをタッチします。次に、更新ボタンをタッチします。画面の下部のメッセージでUSB ドライブを認識したことを確認します。もし確認メッセージが表示されない場合はUSB ドライブを差し直してください。その後、更新ボタンをタッチします。ホームボタンをタッチするとメイン画面に戻ります。



ミシンのソフトウェアを更新するには



オンラインガイド：ソフトウェアの更新に関する詳しい情報は、「Update the Software on the Amara」、<https://youtu.be/KfgOJlqahyg> を閲覧してください。



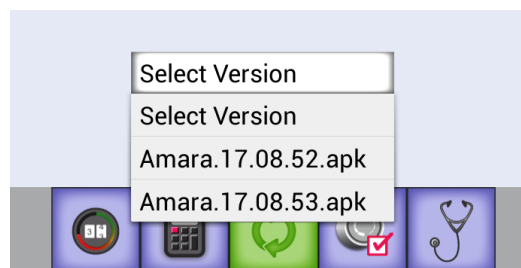
重要：アマラをプロスティッチャータブレットから操作しているときは、更新画面にはミシンのアイコンだけが表示されます。アマラディスプレイソフトウェアはプロスティッチャーソフトウェアの一部です。ミシンを更新するときには、最新バージョンのプロスティッチャーをお使いください。

ミシンのソフトウェアを更新するには

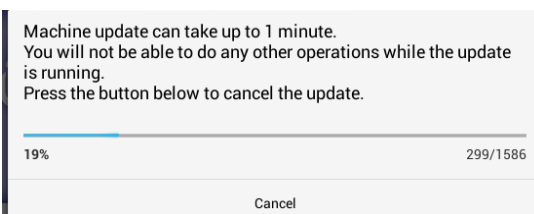
1. USB ドライブを正面ディスプレイの下の USB ポートにセットします。次にミシンアイコンをタッチして、ミシンのソフトウェアを更新します。



2. ミシンの更新に使うファイルを選択するよう求められます。Select Version ボックスをタッチして、ダウンロードした更新ファイルを選びます。



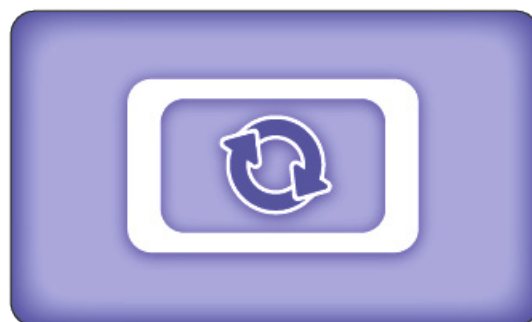
3. 更新に数分間かかりますので、我慢して待ってください。
4. 更新が完了するとピーブ音が鳴り、完了を知らせます。電源を切って USB ドライブを抜き、ミシンを再スタートさせてください。



ディスプレイ画面のソフトウェアを更新するには

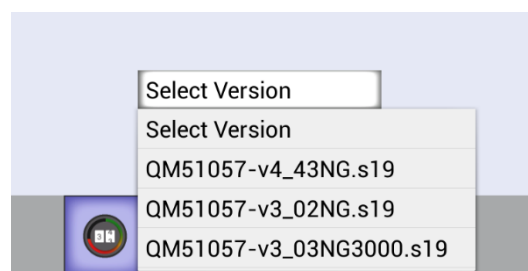
前方と後方の両方のディスプレイを更新する必要があります。

1. USB ドライブを正面ディスプレイの下側の USB ポートに差し込んで、ディスプレイ上のアイコンをタッチしてディスプレイのソフトウェアを更新します。



注意：後方ディスプレイを更新するには、USB ドライブを後方ディスプレイの下部の USB ポートに差し込んで更新をします。終わったら USB ドライブを取り外してください。

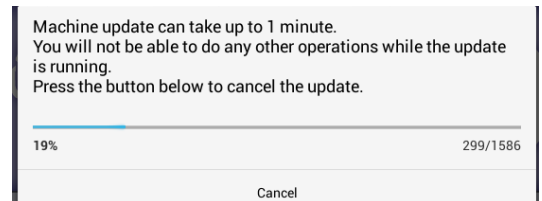
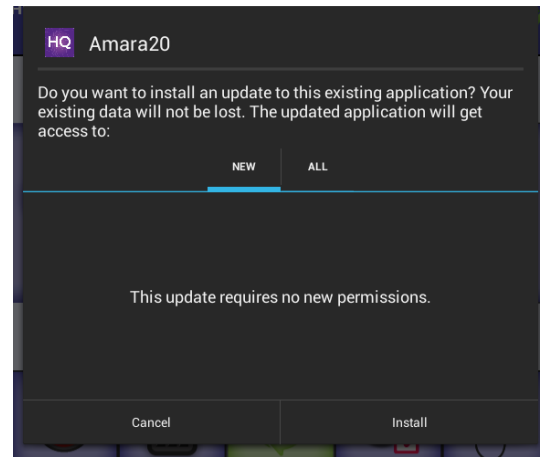
2. 使用するファイルを選択するよう求められます。Select Version ボックスをタッチして、ダウンロードした更新ファイルを選びます。



3. メッセージボックスが表示されたら、New & Install（新規作成とインストール）を選択します。

4. しばらく待ちます。

5. Install（インストール）を選択して、現在のソフトウェアを新しいソフトウェアで上書きすることを確認します。ソフトウェアを更新しない場合は、[キャンセル] を選択します。



ダイヤルテンションのリセット方法

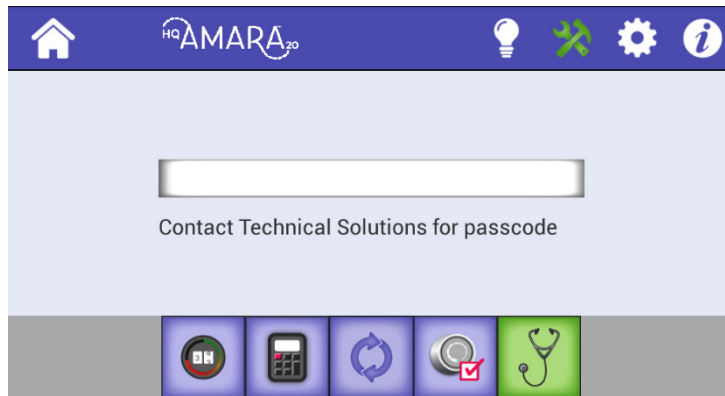
1. テンションダイヤルのつまみを反時計回りに回して、テンションディスクが自由に動くところまで緩めます。何回かつまみを回しますが、回しすぎて外さないよう気をつけてください。
2. 次に、テンションディスクが軽く触れ合うくらいになるまでつまみを時計回りに回します。
3. ツールバーのダイヤルテンションアイコンをタッチします。ダイヤルテンションがゼロにリセットされます。
4. この状態からダイヤルテンションを時計回りに3回フルターンで回します。これで工場出荷時の設定に近いテンションを復元します。



診断プログラム

ハンディキルターのテクニカルチーム、または認定ハンディキルター販売業者では、ご購入されたアマラを診断するためのテストをいくつかご用意しています。診断プログラムを実行するには入力するコードが必要です。テストは以下の手順で行います。

- ツールバーのツールボタンをタッチします。次に、画面下部にある 診断ボタンをタッチします。受け取ったコードを入力し、さまざまな診断テストの指示に従います。



コードは販売業者にご連絡ください。

ミシンの設定

ミシンの設定を開くには、設定アイコンをタッチします。アイコンが緑色に変わります。



次に、画面下に表示される6つのオプションのいずれかを選択します。

オプションを選択すると、ボタンの背景が緑色に変わり、画面が変わります。設定はカスタマイズできます。設定アイコンをタッチすると、前回使用した設定オプションが表示されます。

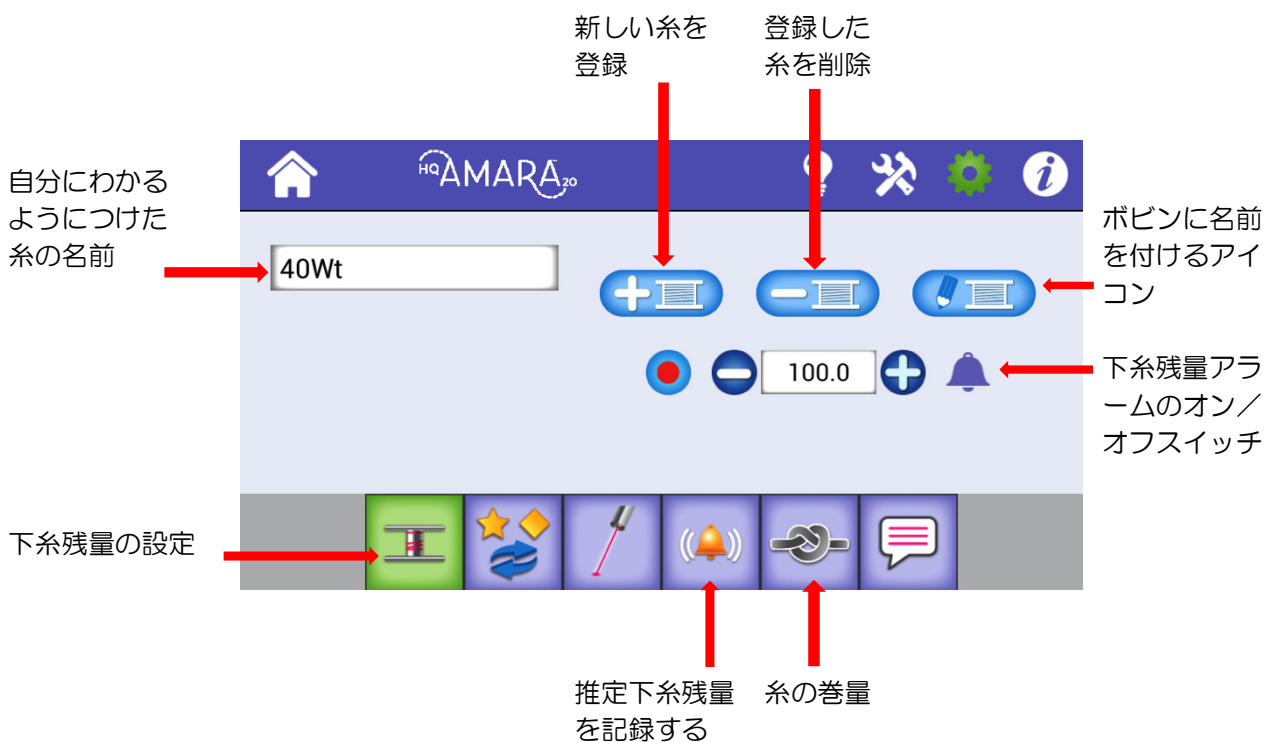
下系残量アラームの設定	ハンドルスイッチのカスタマイズ	レーザーポインターのオン/オフ	アラームの設定	留め縫いの設定	言語の設定

- 設定画面を閉じるには画面左上のホームアイコンをタッチします。

下系残量アラーム

下系残量が少なくなったことを知らせてくれる下系残量アラームを設定します。ポビンに巻ける糸の量は、使用する糸の種類と太さによって異なります。異なるタイプの糸 20 種類まで登録できます。

- ツールバーの設定アイコンをタッチします。次に、下系残量アラームボタンをタッチします。

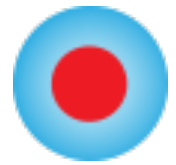


新しいボビンの設定とボビン容量の設定

1. 特定のタイプの糸に対してボビン容量基準値を決めるには、まず新しいボビンの設定をします。その糸をボビンいっぱい巻いてミシンにセットします。
2. このアイコンをタッチして、新しいボビンを追加します。ポップアップキーボード上で特定のボビンを見分けるための名前を入力します。左下の矢印をタッチしてポップアップキーボードを閉じます。



3. レコードボタン(右図)をタッチします。ボビン容量基準値がリセットされゼロになります。下糸が無くなるまでキルティングしてください。



注意：画面上のボビンリセットボタンには、縫うに従って減っていく下糸の残量が表示されます。ボビンリセットボタンをタッチすると、その糸の推定最大容量が表示されます。キルティングするにつれてこの数はカウントダウンされます。ボビン容量を登録するためにキルティングを続けるに従ってこの数字は増えていきます。

4. 下糸残量アラーム画面に戻り、再度レコードボタンをタッチして記録するのをストップします。ボビン容量ボックスには、糸がどれくらい残っているのか推定残量が表示されます。



5. 留め縫いに必要と思われる糸の量をボビンの容量から減らします。容量を減らすには、マイナス（-）ボタンを押します。または、ボビン容量ボックスをタッチして画面上にポップアップ番号キーボードを表示させて数字を直接入力します。



6. 糸をいっぱいに巻いたボビンを使うときは、ボビンをミシンにセットし、メイン画面上のボビンリセットボタンをタッチします。



7. アラームアイコンがオン（緑色）になっていることを確認します。そうでない場合は、アラームアイコンをタッチしてオンに切り替えます。糸残量がゼロになったとき、残量警告音が鳴ります。



注意：この画面で糸残量警告音をオンにしたりオフにすると、アラーム画面もオン、またはオフになります。

糸容量を登録したボビンを使うときは、ボビン名前ボックスをタッチし、そのボビンにつけた名前をタッチします。糸をいっぱいに巻いたボビンをミシンにセットし、メイン画面上のリセットボタンをタッチします。

登録したポピン容量を削除するには

- ポピンネームボックスをタッチしポピンの名前を選択、ポピンネーム削除ボタンをタッチします。

ポピン容量を編集するには

- ポピンネームボックスをタッチし、編集したいポピンの名前を選択、ポピン編集ボタンをタッチします。ポップアップキーボードを使用して変更します。

操作ハンドルボタンオプション

アマラのハンドルラベルは貼られていない状態で梱包されています。ご自分で左右のハンドルの機能を決めてから貼り付けるようになっています。たとえば、ほとんどのミシンではスタート/ストップボタンは右側にセットされています。左利きの場合、スタート/ストップボタンは左ハンドルバーに、針上下機能は右ハンドルに配置した方が使いやすいかもしれません。詳細については、17 ページの「操作ハンドルボタンの機能設定」を参照してください。

ハンドルバーにラベルを貼り付けたら、ハンドルバーのカスタマイズ設定を使用して、ハンドルバーボタンの選択と、星形とひし形のボタンの機能をカスタマイズします。



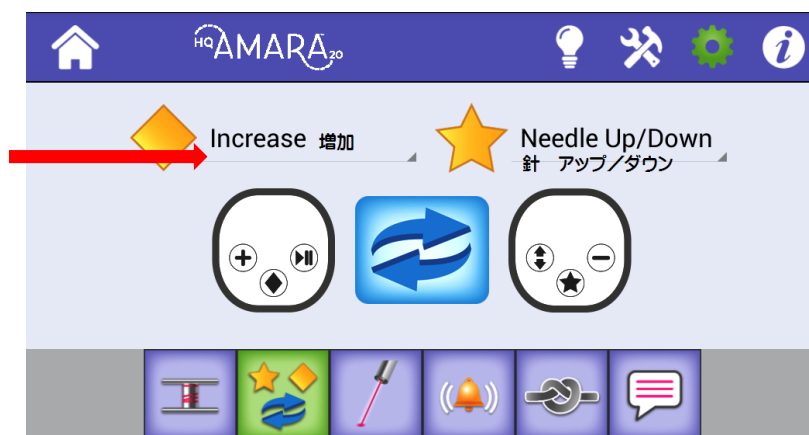
重要：前方ハンドルバーを設定すると、後方ハンドルバーは自動的に同じ機能が設定されます。

ハンドルバーボタンをカスタマイズするには

- ツールバーの設定アイコンをタッチします。次に、ハンドルバーの設定ボタンをタッチします。ホームボタンをタッチすればいつでもメインメニューに戻れます。

左右のハンドルバーボタンを切り替えるには

ハンドルバーボタンの設定



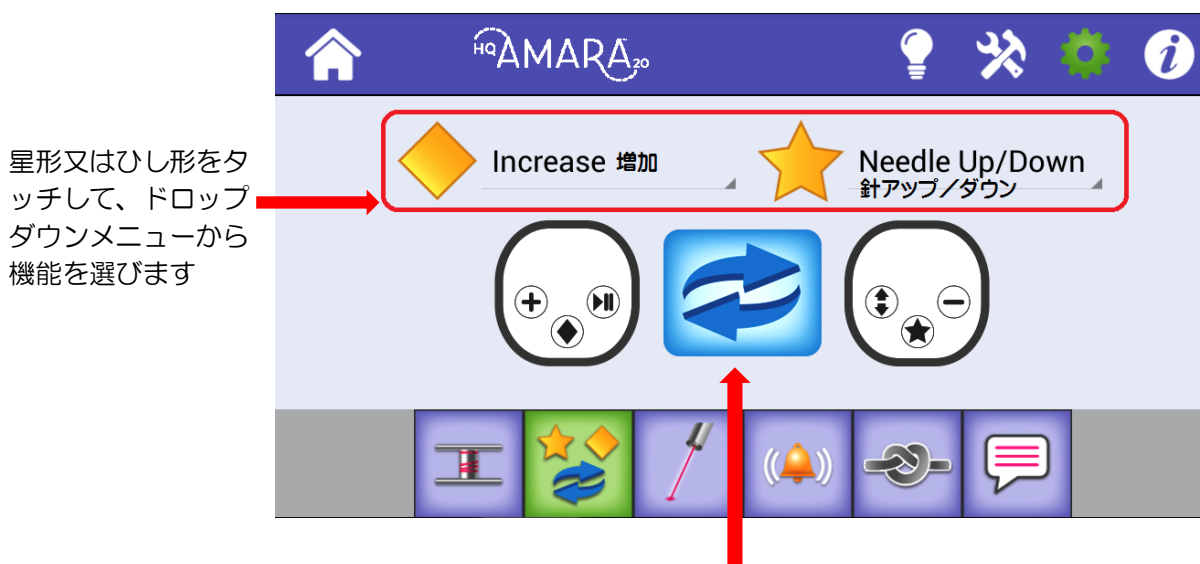
ハンドルバーに設定した機能に合うようにボタン機能変更ボタンをタッチします。左のボタンイメージは左のハンドルバーを表示。右のボタンイメージは右ハンドルバーを表示。

- 左右のハンドルバーに使用できる機能を切り替えるには、画面中央の二重矢印アイコンをタッチします。ハンドルバーのラベルが選択内容と一致していることを確認します。



オンラインガイド：ハンドルバーボタンのプログラミングの詳細については、ビデオ [Programming Handle Bar Button]、<https://youtu.be/4VK6R4STUuw> を閲覧してください

ハンドルバーの星形とひし形のボタンを設定するには



1. 画面中央の二重矢印アイコンをタッチして、星形とひし形ボタンのオプション機能を表示します。
2. 選びたい機能のボタンをタッチします。

星形とひし形のボタンをカスタマイズするためのオプションは次のとおりです

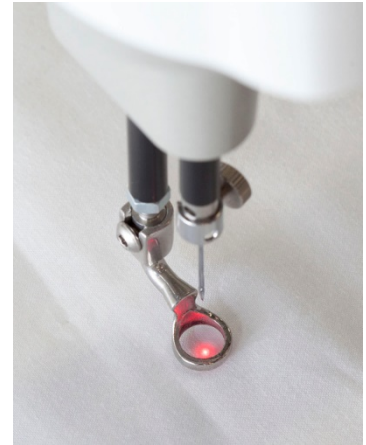
オプション	実行される機能
なし	ボタンはファンクションを実行しません
スタート/ストップ	ステッチの開始または終了
ニードルアップ/ダウン	針を上下に移動させ半針縫います
増加	マニュアルモードでのスピードの加速、レギュレーターモードでインチ当たりの針目の増加
減少	マニュアルモードでのスピードの減速、レギュレーターモードでインチ当たりの針目の減少
留め縫い	留め縫いを実行します



重要：プロスティッチャーを使うと、星形とひし形のボタン設定がプロスティッチャー機能のハンドルバーボタンに上書きされます。詳細については、プロスティッチャーのユーザーマニュアルを参照してください。

針位置ポインター

アマラにはニードルレーザーポインターが装備されています。ポインターは針が刺さる正確な位置を示します。レーザーポインター設定でレーザーのオン/オフをセットできます。

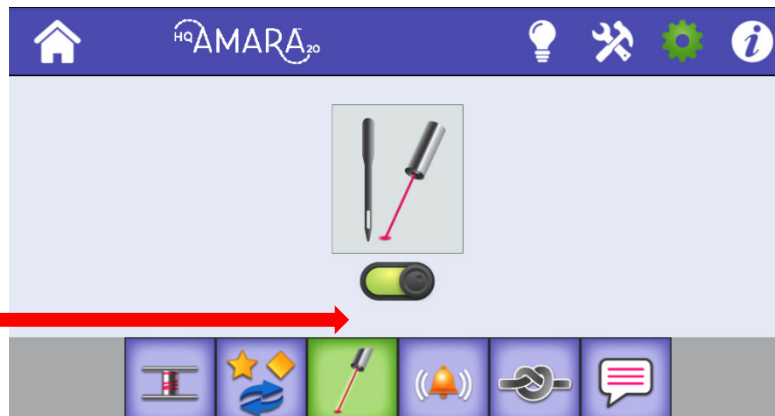


レーザーポインターをオン/オフにするには

- ツールバーの設定アイコンをタッチします。次にレーザーポインターボタンをタッチします。スライドスイッチをタッチして、オン、またはオフを選びます。



スライドスイッチを使ってレーザーポインターをオン、またはオフにします



針レーザーポインターの制御
緑色の表示はオン

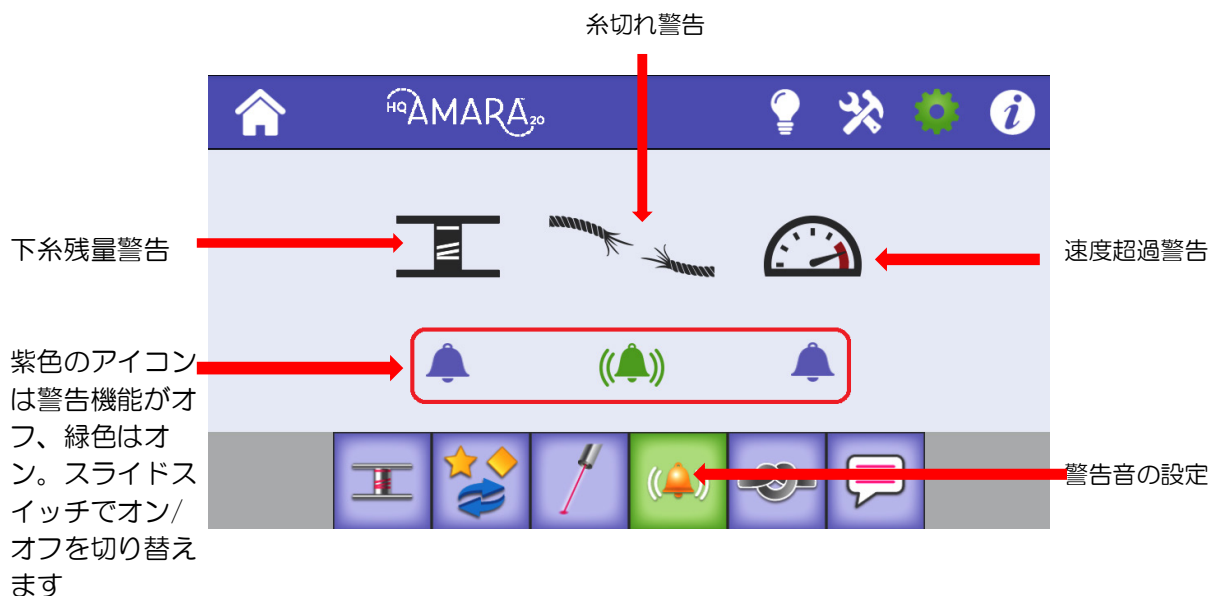
アラーム

アラーム設定を使用すると、下糸残量、糸切れ、および速度超過の警告音をオン、またはオフに出来ます。

下糸残量警告音：下糸残量が指定量に達すると下糸切れを警告します。詳しくは 54 ページを参照してください。

糸切れ警告音：キルティング中に上糸が切れた場合に警告します。

速度超過警告音：モーター許容速度の 100% よりも速くミシンを動かしている場合に、ステッチレギュレーターが既定の縫目を縫えないことを警告します。アマラが対応できない速度なので、この警告音を 2 度と聞くことのないように注意しましょう。



警告音のオン/オフ

- アラームの下のベルをタッチしてオン、オフを切り替えます。オンのときは音波の付いたベルのアイコンが緑色になります。紫色のときはオフです。

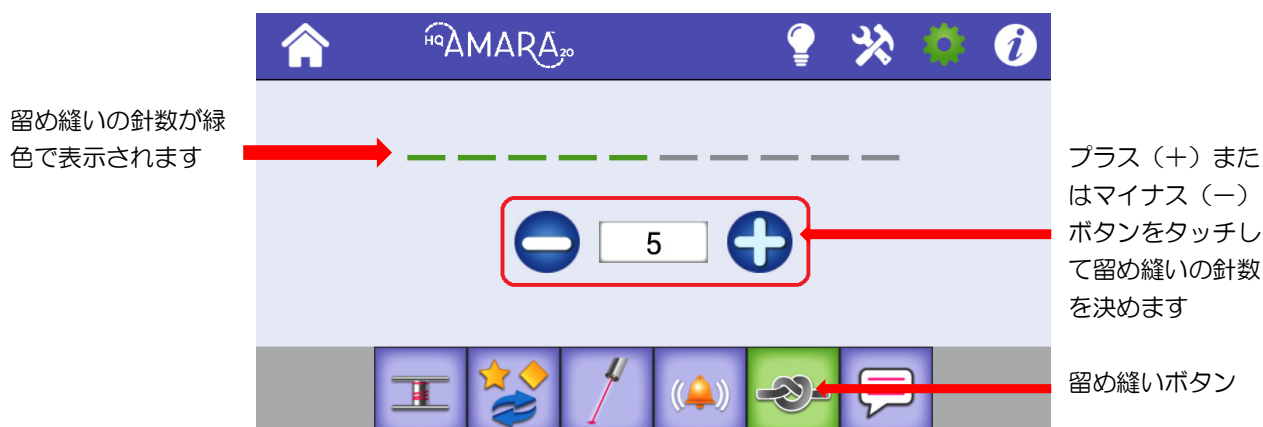
留め縫い機能

キルティングの初めと終わりに留め縫いをして縫い目のほつれを防ぎます。マニュアル操作で小さな目で縫うことも出来ますが、アマラでは事前に何針留め縫いをするかプログラムして自動的に留め縫いを実行できます。留め縫い用のマイクロ（極小）ステッチを2針から10針の間で決めます。

留め縫いを設定するには

 オンラインガイド：留め縫いをする方法は、ビデオ [Bringing up the Bobbin Thread]、https://youtu.be/7v_iNc-nwxY を閲覧してください。

- ツールバーの設定アイコンをタッチします。次に、留め縫いボタンをタッチします。プラス（+）またはマイナス（-）をタッチして針数を決めます。



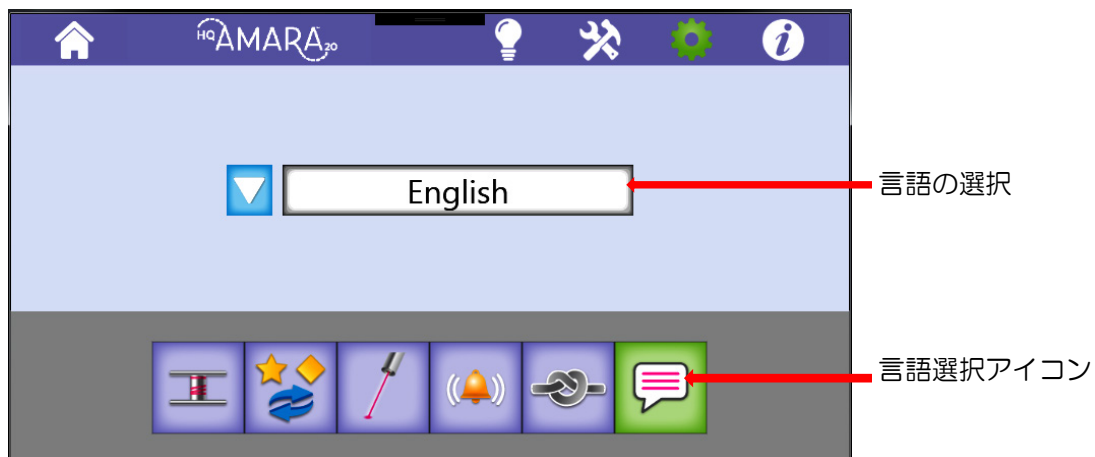
自動留め縫いの針数を決めたら、画面上の留め縫いボタンをタッチします。ミシンをわずかに動かすと留め縫いが実行されます。

言語の設定

アマラの画面表示で使う言語を選びます。選択肢は、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語です。

言語を選択するには

- ツールバー上の言語選択アイコンをタッチします。下向き矢印アイコンをタッチして言語を表示します。言語選択アイコンをタッチして画面を閉じます。



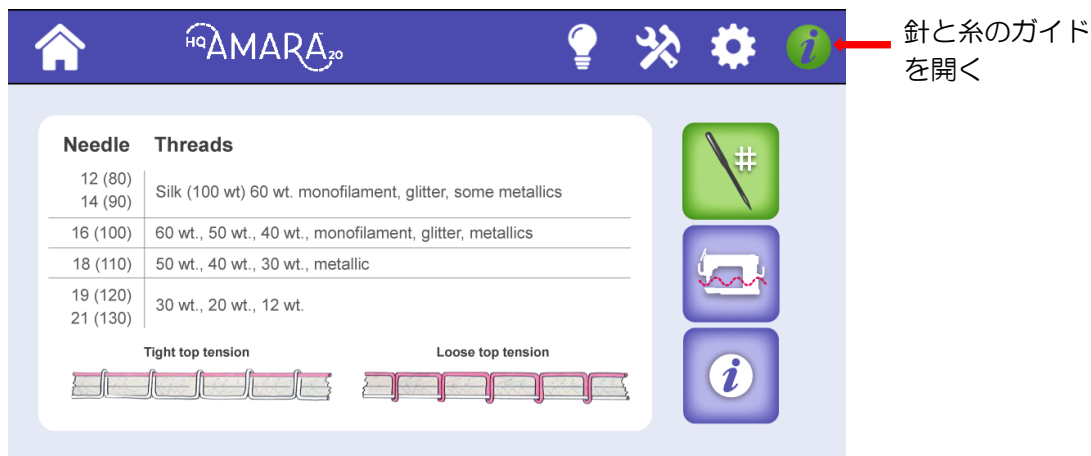
インフォメーション画面

インフォメーション画面ではシステム情報とアマラに関するクイックリファレンスを表示します。

針と糸の関係を見る

クイックリファレンスには、布のタイプや厚さに適した針の番手を表示されます。

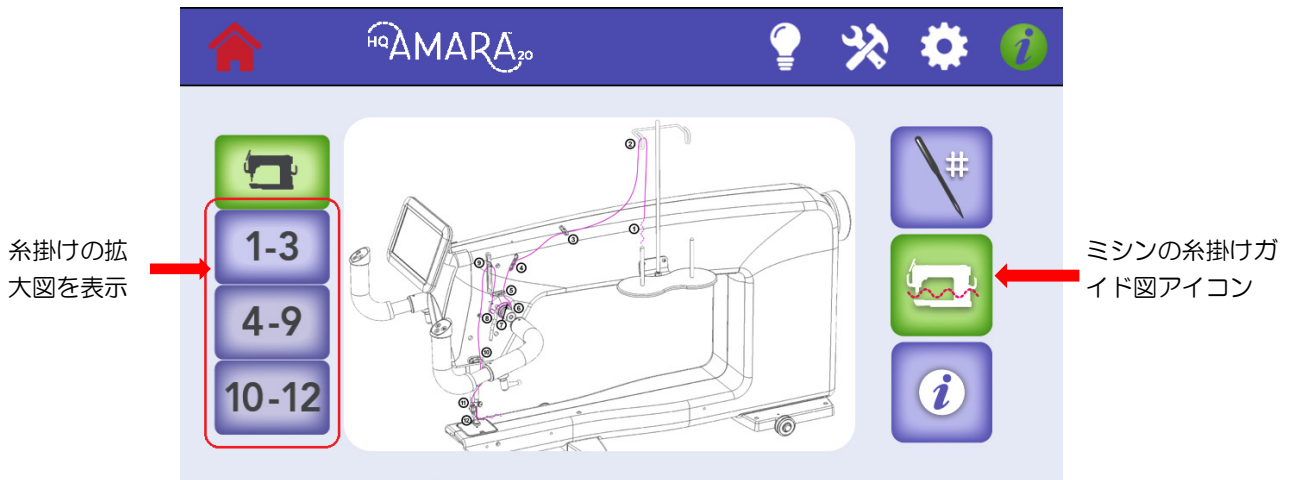
- ツールバーのインフォメーションアイコンをタッチし、針のボタンをタッチします。



糸掛けのガイドを表示するには

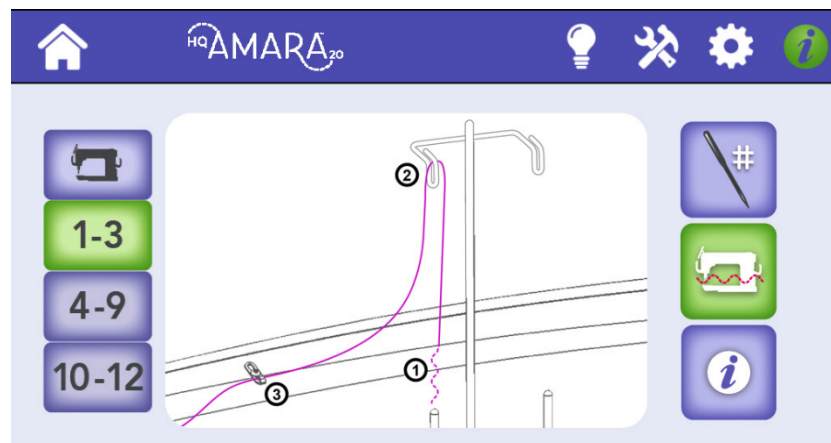
クイックリファレンスでは、上糸掛けの手順を画面上で見られます。詳細については32ページの「上糸の掛け方」を参照してください。

- 画面上のツールバーのインフォメーションアイコンをタッチし、ミシンの糸掛けガイド図アイコンをタッチします。

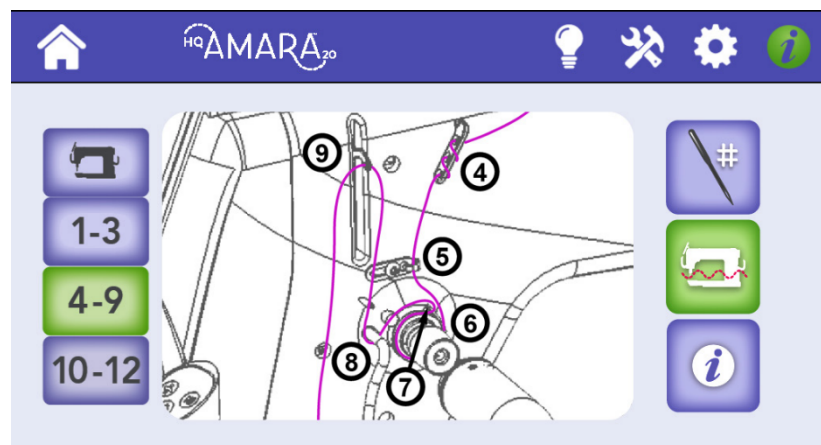


画面左の縦に表示されたボタンの番号は、糸掛けの順番を示しています。ステップ 1 から 3、4 から 9、10 から 12 の拡大図を表示します。

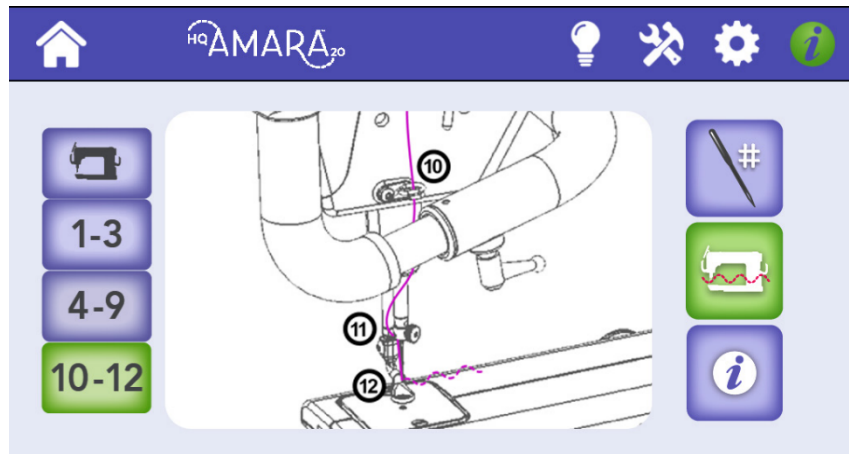
1-3



4-9



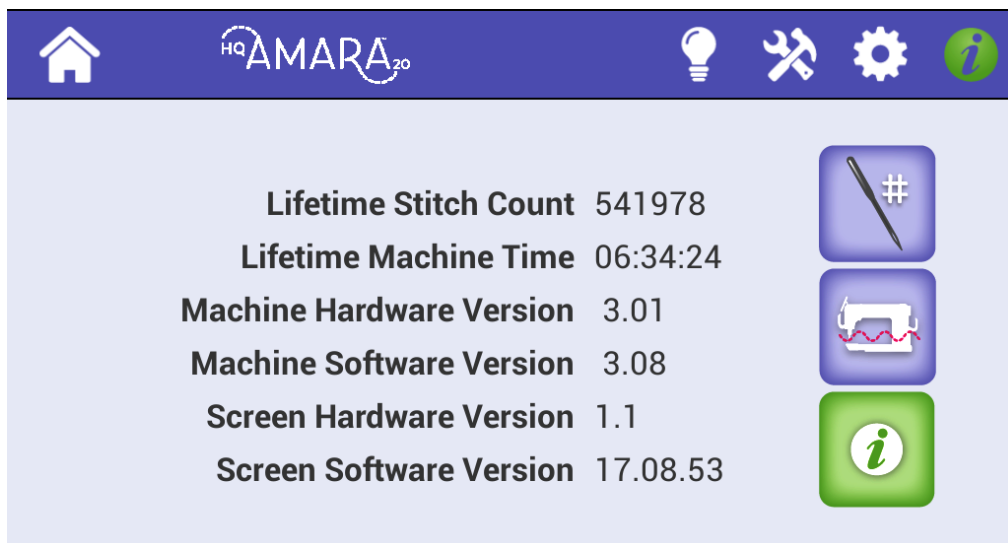
10-12



ミシンに関するシステム情報を見るには

ミシンのアクセサリを購入するとき、または技術支援を受けたいとき、ミシンのシステム情報をハンディキルター社、または認定小売業者に知らせる必要がある場合があります。

- 画面上に表示されたツールバーのインフォメーションアイコンをタッチします。次に、画面右側のツールバーのインフォメーションアイコンをタッチします。



システム情報
アイコン

生涯ステッチ数	541978
生涯稼働時間	06:34:24
ハードウェアバージョン	3.01
ソフトウェアバージョン	3.08
画面ハードウェアバージョン	1.1
画面ソフトウェアバージョン	17.08.53

メンテナンスの方法

ミシンのクリーニングと注油の方法

ユーザーによる定期的なメンテナンスは釜周辺の掃除と注油だけです。釜周辺への注油を怠ると、音が大きくなり、深刻な故障につながりますのでご注意ください。ソーイング中の釜から出る音を注意して聞くようにしてください。油が切れるとカラカラと乾いた音が聞こえるようになります。



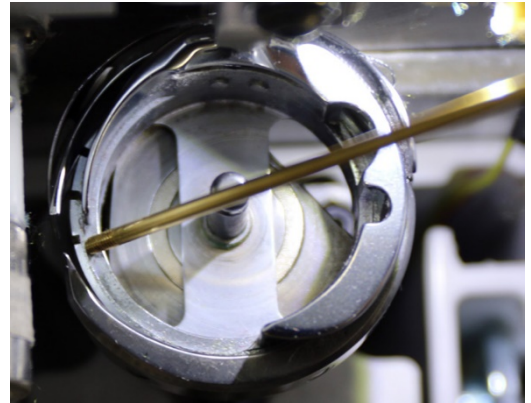
メモ：内部機構の注油に関しては、サービスに出していただいたときに、技術者が必要な内部への注油をすることになっています。



重要：必ずHQ社指定の上質なミシン油を使ってください。

掃除と注油

1. 注油をするには、まずミシンの電源を切ります。次にボビンケースを取り外します。
2. 釜周辺の糸くずや布粉などをブラシで掃除します。
3. ミシン油1滴程度を、ボビンケースと釜が触れ合うあたりに注油します。(写真右) 大釜が回転しても中釜は常に同じ位置に保たれています。この中釜と大釜が触れる円周面に注油してください。注油の頻度はミシンを使う頻度により異なります。しばらく使わなかったときや、ボビンを出し入れする度に注油することをお勧めします。



4. ボビンケースを戻します。



キルティングヒント：注油のあとは必ず捨て布で試し縫いをして余分なオイルを取り除くようにしましょう。油切れ状態は、釜音が大きくなることで気がつくでしょう。ステッチの精度にも影響しますのでご注意ください。

タッチスクリーンのクリーニング

柔らかい布にガラスクリーナーを浸して、軽く画面を拭いて汚れなどを落としてください。



注意：シンナーや油、溶剤の入ったクリーナーは絶対に使わないでください。画面を傷つけるだけでなくタッチスクリーンの反応が損なわれます。

メンテナンスの予定

通常のご自分でするメンテナンス以外に、定期的に 24 か月毎、または 1 千万ステッチ毎、いずれか早いタイミングで正規ハンディキルター代理店によるメンテナンスをお勧めします。代理店では内部機構への注油と機能の点検を実施します。1 千万ステッチを超えるとアマラの画面上に定期点検の時期をお知らせします。

困ったときは

ご自分で解決できる問題がたくさんあります。ご不明な点やご質問はハンディキルター正規販売代理店、キルトガーデンにご連絡ください。電話：090-2332-5770 E-メール：info@quiltgarden.jp

まずは下記の項目をチェックしてください。

1. 電源が入らないとき、電源コードが確実に接続されていますか？
2. 全てのコードが正確にミシンに接続されていますか？
3. 一度ミシンの電源を切って10秒間待ってから再び電源を入れ直してみてください。

それでも問題が解決しないときは以下の情報を参考にしてください。

目飛びがする	対策
針先が傷ついたり、曲がったりしている、または取り付けが完全でない	<ul style="list-style-type: none">• 長時間キルティングを続けるときには1日に1回か2回、または出来るだけ針を交換しましょう。少なくとも1枚のキルトに対して1回は交換が必要です。必ずHQ社の純正針を使いましょう。• 針がまち針のような金属に当たったときは、必ず針を交換しましょう。このようなとき、針先が曲がったり欠けたりして、針が布に刺さる音が大きくなり、布地を傷めたり、目飛びや糸切れを頻発させます。• キルティングの最中に布地を引っ張ったり押し込んだりして、針が針板などに当たったときは、針を交換してください。針の先が僅かに曲がっただけで、目飛びが頻発します。
針の番手が糸に合っていない	<ul style="list-style-type: none">• キルティングに使っている針のサイズと布地のタイプとの組み合わせが適当かどうか確かめてみてください。伸縮性のあるような布地によっては、キルティングの最中に糸を針の溝に押し付けたり、締め付けたりする特性があります。このとき、糸が釜の中でループをうまく構成できずに目飛びとなることがあります。このような場合は、太い針に交換することで問題を解消できます。また、針先がボールポイントになったニット地用の針も効果があります。布、糸、キルト芯によって条件が複雑に変わります。いろいろ試してみてください
布の張り方が強すぎる	<ul style="list-style-type: none">• フレームの針を緩めて下さい。布の張りが強すぎると布の繊維がばらけて布が振動します。この状態では、針と布の摩擦が減少し、小さなループが発生します。
糸のテンションが強すぎる	<ul style="list-style-type: none">• 下糸、上糸テンションを緩めてみてください。試し縫いして最適な上下のバランスを調節してください。(29-32ページ参照)
糸掛けが間違っている	<ul style="list-style-type: none">• 天秤に正しく糸が通っているか確かめてください。• 糸掛けやチェックスプリングに正しく糸が掛かっていますか？• ダイアルテンションディスクに上糸が正確に深く食い込んでいますか？

針の取り付け方が間違っている	<ul style="list-style-type: none"> 針を針棒に正しく取り付け直してください。針の正しい取り付け位置は、ミシンの正面（ボビンケースがあなたに向いている方向）から見たときに、針の穴があなたに向かって真正面になっている状態です。ミシンの右側から見ると、針の溝は左方向に向いていることになり、針のくぼみがはずみ車側に向いています。 以下の3点を確認してください。（1）針がしっかりと上まで差し込まれて止められていること。（2）針の溝があなたの方向を向いていること。（3）針のくぼみがはずみ車側に向いていること。 糸によっては、上糸を引っ掛けやすくするために、針の取り付け方向をごく僅かに左に回転させて取り付けられることもあります。詳しくは販売代理店にお尋ねください。
針が折れる	対策
針が曲がっているか、取り付け方が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 針を交換してみましょう。針を取り付ける際には針をしっかり上に押し上げてネジを締め付けます。針棒ののぞき穴から針の先端が見えますので確かめてください。針が正しく取り付けられていないと、針がボビンケースや針板に当たります。
針が針板に当たる	<ul style="list-style-type: none"> 針の取り付け方が正しいかどうか確認してください。針板や押え金が正しい位置に取り付けられていますか？ 針を交換してみてください。
縫い目が縮む	対策
上下の糸のテンションが合っていない	<ul style="list-style-type: none"> ボビンケースのテンションをまず確かめてください。 それから、上糸ダイヤルテンションで上糸のテンションを調節してバランスと取ります。（29-32 ページ参照）
布地に対して針が太すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 布地に合った針に交換してください。
ステッチが不揃い	対策
糸のバランスが悪い	<ul style="list-style-type: none"> 下糸のテンションが正しいことを確認してから（29-31 ページ参照）、上糸調節ダイヤルテンションで上糸を調節します。
ボビンケースに原因（歪み、汚れ、錆びなど）	<ul style="list-style-type: none"> 下糸はボビンケースのテンションパネの下を高速で滑り出してきます。些細な汚れ、パネの下の糸くずや糸粉などが糸の動きに大きく影響します。糸道が常にクリーンなことを確認してください。
ミシンを動かす速度が速すぎる（マニュアルモードのみ）	<ul style="list-style-type: none"> 最適なスピードに設定し、針のスピードとミシンの動きをシンクロナイズさせてください。

糸調子が不調	対策
ポピンケースのテンションバネの下に糸くずが詰まっている	<ul style="list-style-type: none"> 品質の悪い糸や、柔らかい繊維を使った糸はバネの下に糸くずを溜め込む傾向にあります。このような状態になると、下糸のテンションが緩くなり、表側に下糸が引き上げられてきます。バネのネジを緩めてバネの下側にまち針などを差し込んでこの糸くずを除去してください。バネの裏側を傷つけないように細心の注意を。
ボビンの糸巻き状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 糸巻きが緩すぎたりきつすぎるとステッチに大きな影響を及ぼします。 糸巻きの状態がいびつだったり、きつく巻きすぎたりしないように。 緩すぎて糸の巻き状態がスポンジのようにふわふわした状態も避けてください。
はずみ車が回らない	対策
切れた糸が釜の周りで絡み付いていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> まず、電源コードをコンセントから抜きます。 ポピンケースを釜から取り出します。針を外さないと取り出せないときもあります。 はずみ車を手で何度も前後に軽く回しながら、軽く回るまで続けます。 釜に注油をします（63ページ参照）。 釜に絡んだ糸がないことを確認してください。
糸絡みが発生してミシンがロックしています	<ul style="list-style-type: none"> はずみ車を前後に回してロック状態を解消する
キルトの裏側で糸が絡む	対策
上糸テンションが緩すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 上糸、下糸の糸掛けを再度やり直してみてください。上糸がダイヤルテンションのディスクの間にしっかりと入っていることを確かめてください。それでもまだ糸が絡むようならば、上糸のテンションを徐々に強めてみてください。
糸掛けが間違っている	<ul style="list-style-type: none"> 33ページを参照して、正しく糸を掛け直してください。
糸がたるむ	
ボビンの糸がポピンケースに絡まる、糸が中釜の軸に絡みつくと、キルトの裏側でループが発生する	<ul style="list-style-type: none"> ボビンがポピンケースの中に正しくセットされているかどうか、上糸が正確にダイヤルテンションのディスクの間にセットされているかどうか確認します。ポピンケースにセットしたボビンの糸を引っ張ったとき引っ張る方向と反対方向に回っていますか？
ミシンの動きが重たい	対策
ミシン土台の車輪がレールから外れている	<ul style="list-style-type: none"> ミシンをミシン土台に載せ直してください。 車輪が脱輪していないか確認してください
糸が車輪に絡みついている	<ul style="list-style-type: none"> 糸くずを取り除いてください。レールにゴミや埃が溜まっていないことを確認してください。

モーターが回らない	対策
電源スイッチがオンになっていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチをオンにしてください。電源コードがミシン側とコンセント側で正しく接続されていることを確認してください。
電源コードが正しく接続されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードがしっかりミシンに接続されているかどうか、延長コードを使っているときは延長コードの状態も確認してください。
キルトデザインが歪む	対策
巻上げ棒が弓なりになっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 布の張り方が強すぎて巻上げ棒が弓状になっていませんか？ 巻上げ棒の両端が軸受けにきちんとセットされていますか？
リーダー布が伸びきっている、または摩耗している	<ul style="list-style-type: none"> リーダー布を交換してください。
上糸が切れる	対策
糸の品質が悪いものや古くなったもの、また極端に捻れる糸を使っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 糸を 30-40cm にカットし、糸の両端を左右それぞれの手で持ち、両手を近づけて糸のよじれをチェックしてみてください。ひどく捻れる糸は切れやすい糸です。コットンは経年変化をし、古いものは劣化します。品質のよい糸を使ってください。
上糸と下糸のテンションバランスが悪い	<ul style="list-style-type: none"> 上下の糸のテンションを調節してください。
糸掛けが間違っているか、糸コマの置き方に問題はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 上下の糸掛けをやり直してみてください。 糸立て棒に糸が絡まっていませんか？ 糸案内棒の輪の部分が糸コマの真上に位置していますか？ コーン型の糸コマを使っているときは、糸コマの傾きや置き方を確認してください
上糸ダイヤルテンションの間に異物が混入している	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤルテンションのディスクの間に糸くずなどが挟まっていないか確認してください。
ボビンケースの中でボビンの回転がスムーズでない	<ul style="list-style-type: none"> ボビンを交換してみてください。ボビン形状の僅かな歪みも糸のテンションに大きく影響し、糸切れを起こします。
針の先が痛んでいる、針が曲がっている、針の取り付け方が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 最低でも 1 枚のキルトを完成する度に針を新しいものに交換してください。針が正しく、針最上部確認孔まで届いているかどうか確認してください。

針のサイズが糸に合っていない	<ul style="list-style-type: none"> 糸に合ったサイズとタイプの針に交換してください。
キルティング時にミシンを動かさずに1か所を縫いすぎていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ステッチが重ならないよう、また、同じ場所を縫わないよう、ミシンの速度に合わせてミシンを動かしてください。ミシンが動き出したら1～2針縫って布を動かしてください。1か所に何針も縫わないように。
針と中釜のタイミングがずれている	<ul style="list-style-type: none"> 針と釜のタイミングが合っていません。正規販売代理店にご相談ください。
針板の表面に傷がついている、糸道が傷ついている	<ul style="list-style-type: none"> 針板の付近で糸がささくれるようでしたら、針が当たった跡がないか、表面がざらざらしていないか、針板の針穴の周りを注意してチェックしてください。このようなときは、正規販売代理店にご相談ください。
針のタイプが間違っている	<ul style="list-style-type: none"> ハンディキルター社の純正針を使ってください。間違った番手の針を使うといろいろな問題の原因となります。針の軸の径が細いものを使うと、糸が歪んで、縫いに影響し、目飛びや針折れなどの原因となり危険です。 針 工業用タイプ134 DP5
その他の理由	<ul style="list-style-type: none"> 針が釜に近づきすぎて、針が釜に擦れたり、当たる。 針板に傷がついている。 釜の剣先が傷ついている。 針取り付け部分に折れた針が残っていて、針を正しく取り付けられない。 以上の場合は正規販売代理店にご相談ください。
モニター画面が映らない	対策
接続ケーブルの取り付け不良	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチをオフにして、モニターとミシン本体をつなぐケーブルがしっかりと接続されているかどうか確認してください。
糸切れセンサー警告音	対策
糸切れ警告音	<ul style="list-style-type: none"> 上糸切れです。糸を掛け直してください。
糸が切れていないのに糸切れ警告音が鳴る	<ul style="list-style-type: none"> 上糸を掛け直してみてください。
糸掛けが正常なのに警告音が鳴る	<ul style="list-style-type: none"> 上糸テンションが緩すぎると糸切れセンサーが異常を感知して警告します。テンションを正しく調節してください。センサーはダイヤルテンションの手前ある金属の部品です。



メモ：トラブルシューティングでも問題が解決しないときは正規販売代理店にご相談ください。

付録 1

For USA Only

Handi Quilter
445 N 700W
North Salt Lake, UT 84054
電話：+1-801-292-7988、+1-1-877-697-
8458
Fax: +1-801-294-3011

キルトガーデン
Handi Quilter 日本総輸入代理店
237-0066 神奈川県横須賀市湘南鷹取 2-1-3
電話：090-2332-5770
E-Mail: info@quiltgarden.jp
www.quiltgarden.jp

修理、サービスをお受けになる際には、製品保証登録証を、先ずご購入国の現地のお買い上げ販売店、または輸入販売代理店にご提示ください。

製品保証書

ハンディキルター株式会社（以下 HQ 社）は、以下に述べる正規の使用条件下における HQ 製キルティングミシンの製造上の不良、及び部品の不良に対して以下の通りの無償修理の保証を提供します。

- (a) **90 日保証:** 製品が販売された日から数えて 90 日以内に発生するあらゆる製造上の不良に関しては部品、労賃の全てを無償で修理します。その後の不良に関しては部品代価のみ保証するものとします。
- (b) **5 年機械的不良に対する保証:** 購入後 5 年以内に発生する機械的な不良に関しては HQ 社は部品を無償で提供します。修理代及び出張が必要な場合の往復に掛かる旅費等はユーザーの負担とします。
- (c) **5 年電気・電子部品の保証:** ご購入日より 5 年以内に発生する電気及び電子部品の不良は無償で部品を提供します。交換に要する修理代と出張が必要な場合の往復に掛かる旅費はユーザーの負担とします。但し、この保証はミシンをご使用にならず電源コンセントに繋いで置かれていて発生した場合には対象となりません。
- (d) **10 年工場保証:** HQ 社は製品不良により発生するミシン本体(キャストイング)及び加工上の不良に関しては 10 年間の無償保証を提供します。但し、この保証は別の保証規定により保証される機械不良や電気及び電子部品の不良、また保証期間満了後の機械及び電気、電子部品不良に拠って引き起こされる本体の不良等に関しては除外するものとします。

上記項目 (b)、(c)、(d) に記述された製品保証は、HQ 社の判断に基づき、工場責任、また材料上の不良により発生したものに限られ、製品が HQ 社、または正規認定修理工場、またはその他の HQ 社により認定された施設に返品されたものに限りです。その他に修理に掛かる工賃及び往復の輸送料、また出張を必要とする場合の往復旅費等は保証期間中であってもユーザーのご負担となります。

この製品保証が履行されるには、修理の発生する前に製品保証登録証(巻末ページ参照)を HQ 社または HQ 社が認定する代理店に提示する必要があります。

保証対象外: 誤った使い方をされた場合、不適切にキルティング以外に使用した場合、不注意により発生した場合、運送中の損傷、HQ 社の製品標準仕様を故意に変えてお使いになった場合などは対象となりません。

保証内容が延長されることはありません。HQ 社は記述された、合意された保証、または特定目的の適合性を含む製品に関する保証以外に対しては責任を負いません。アメリカ合衆国では、いくつかの法律は黙示保証の除外を許可しません。

特定の保証対象外の制限は、全てではありませんが、おおむね以下の通りです。

- ファブリックまたは材料への損傷を含む通常の、派生的な、付随的または特別な損害、そして作り直しにかかる費用、または利益の損失、インストール、または除去に掛かる費用、または任意の製品と検査、テスト、または欠陥から派生した再設計の費用、製品の欠陥に起因する修理または交換
- HQ 社で受け取る製品の梱包に欠陥がある場合、製品に手を加えられている場合、または物理的に破損している場合
- 模造ラベル、改造ラベルやステッカー
- コネクター上の折れたピン
- ネジ山の潰れたネジ、またはナット
- 損傷または割れた、または欠品、または壊れたコネクター

- シールが無くなっている、破られている、または穴を空けられている
- 私製の布地、糸、またはアクセサリーを使ったミシンキルティング以外の使い方
- 正規の使い方以外の方法での使用者の操作エラー
- 状況により、正規販売店以外、またはHQ社のカスタマーサポートが特別に認可した以外の者、または製品保証修理担当者以外の者が製品内部の調整を試み不当に壊し部品を交換している場合

以下の3項目の内容により引き起こされる故障、欠陥、紛失、悪化、人身傷害または損傷などは、製品保証の対象ではありません。HQ社に対する責任は控除され、全てご購入者の責任になります。

- (1) 通常の使用における消耗、強引に引っ張る、風雨などにさらすなどによる
- (2) 悪用、誤使用、過失による
- (3) HQ社によって承認されていない部品の使用による

いかなる場合においても、死亡事故のみならず個人的な傷害を含む特殊な事故、または結果的に派生する損害に対して、HQ社は製品のご購入者または第三者に対して責任を負うものではありません。

ここに記載されている以外の責任義務を負うものを指定したり、認めたりすることはありません。

(USAのみ)一部の州では偶発的または結果として発生する損害の制限を除外することはできません。従って上記の限定条件は適用されない場合があります。この保証は、購入者に特定の法的権利を与え、購入者はその他の権利を有しますが、州によって異なる場合があります。

Exclusive 救済条項： 救済対象は不良のある製品の修理または交換に限られます。HQ社は不良商品があとどれくらいの期間使用に耐えるかを判断したうえで、修理するか交換するか、どちらの救済策または救済策の組み合わせが適切かを判断します。交換用製品は新しいもの、またはサービス可能な使用済み部品が適用されます。修理または交換した製品に対するHQ社の製品保証は、この製品を購入した時点からの保証期間か、あるいは、修理、交換した製品が出荷されてから90日の保証期間か、いずれか長い方を適用します。

不良が認められた製品に対するHQ社の賠償は、いかなる場合もその製品の購入価格を超えることはありません。この制限は、HQ社が不良製品を修理または交換できない場合も適用されます。

上記の保証に基づくサービスは、製品をご購入された正規の小売販売店、または地元の小売販売店、またはHQカスタマーサービスサポートへご自分で持ち込み、または送付し、製品保証書を提示することで受けられます。

顧客又は販売店のいずれかによって工場に修理返品する製品は、事前にRMA(製品返却許可)番号を入手しなければなりません。RMA番号は電子メール(sales@handiquilter.com)または電話で入手出来ます。カスタマーサポートダイヤル(1-877-697-8458)製品に不良があると判断された場合の返品に際しては、RMA番号発行時に製品返品に関する指示が与えられます。RMA番号を取得しないで返却された場合は、お客様の費用で返却されます。RMA認証された製品は元払いで、正規の梱包材料を使って、損害保険を掛けて出荷されます。ご購入時の製品の箱と包装材料は出来るだけ保管しておいてください。

修理に際しての送料、往復運賃、損害保険料はお客様の負担です。

製品サービスとメンテナンス： 2~4時間使用毎に針を交換しましょう。大きなキルト1~2枚が目安です。ご使用3~4時間ごとにブラシとエアスプレーを使って釜周りの糸くず、布粉、または釜周りのゴミなどを掃除し、釜に注油しましょう。上糸調子を定期的にチェックします。

正規販売店による1年に1回のサービスを推奨します。サービスはタイミングベルトの張り、エンコーダーの位置の確認と調整、ベアリング、釜軸調整とタイミング確認・調整、押え棒と針棒の調整、上糸天秤への注油、ホッピングフットレバー、ベアリングブッシングへの注油。

ハンディキルター株式会社
 カスタマーサービス
 501 North 400 West
 North Salt Lake, Utah 84054
 USA

〒237-0066
 神奈川県横須賀市湘南鷹取2-1-3
 合同会社キルトガーデン

製品保証登録証

製品の購入から 30 日以内に以下の必要事項を記入の上、キルトガーデン合同会社へ郵送して、ご登録を完了してください。

郵送先：
〒237-0066
神奈川県横須賀市湘南鷹取 2-1-3
キルトガーデン
ハンディキルター事業部

製品保証登録証

ハンディキルター社は、マシン本体（キャストイング）と本体カバーに関する製造者責任を販売日より 10 年間、機械部品は 5 年間、そして電気、電子部品は 5 年間保証します。詳細は正規販売代理店にご照会ください。

HQ キルティングマシン モデル(どれかひとつに マークを付けてください)：

HQ スウィートシックスティーン、HQ シンプリーシックスティーン、HQ カプリ

HQ アヴァンテ、HQ アマラ、HQ フュージョン、HQ フォルテ、HQ インフィニティ

購入者氏名： _____

会社名/団体名： _____

郵便番号： _____

住所： _____

自宅電話： _____

携帯電話： _____

ファックス： _____

Eメール： _____

製品機番： _____ Order# (5桁)： _____

購入日： _____

製品受領日： _____

購入代理店名/都市名： _____

使用の目的： 家庭・個人的な使用 職業用 友人との共同所有

主に職業用

その他 _____

キルティング歴 初心者 中級者 熟練者

マシンの熟練度 初心者 中級者 熟練者

お名前 _____

ご署名 _____

日付： _____

白紙ページ

講習内容チェックリストと認定証

貴方はHQ アマラご購入に際し1回の導入トレーニングを無償で受講することが出来ます。またご購入から60日以内のいかなる不具合に対する調整も無償で受けることが出来、製品保証されたいかなる修理も無償で受けられます。このフリーサービスを受けるにはこの認定証をご提示ください。

フレームの組立

- フレームの組み立て方
- フレームの高さの調節方法
- 通常の張り方とクリヤビューの張り方

ミシンのメンテナンス

- 中釜の注油方法：どこに、どのようにして、いつ？
- 釜の掃除の仕方（エアスプレー使用可：ナイロンブラシ使用）
- 車輪とレールの手入れ法

ミシンのセッティング

- 主な部品の確認と取り付け位置
- フレームへの設置方法
- 配線の確認
- 電源コードの接続と安全の確認
- アースの重要性（日本では不要）
- フレームの水平度と高さの調節
- 下糸巻き装置の説明（糸のテンションと巻量の調節方法）
- フレームへの布の張り方-2方法
- 操作ハンドルの調節方法

ミシンの使い方

- ミシンのオン/オフスイッチの説明
- 針の交換方法
- 押え金の交換方法
- 上糸の掛け方
- ボビンケースのテンションの調節方法
- 上糸テンションの調節方法
- 下糸の引き上げ方
- 留め縫いの方法（マニュアル、自動）
- メニューの説明と使い方
- ソーイングライトの調節方法
- 画面上のはずみ車の使い方
- 下糸残量アラームの使い方
- タイマーとステッチカウンターの使い方
- ステッチレギュレーターの使い方
- マニュアルモードでのスピードの設定方法：プリセットスピードの登録方法
- ステッチレギュレーターモードで縫い目長さの設定方法
- クルーズ（巡航）モードの使い方
- プリシジョン（正確）モードの使い方
- 操作ハンドルの使い方
- アラームの説明

重要事項：ご署名される前にご確認ください。

以下にご署名されると当製品の初期説明を受講されたことを承諾することになります。

ハンディキルター社、または代理店による追加の講習には費用が発生することがあります。

ユーザー名： _____

ご署名： _____

講習受講日： _____

指導者名： _____

納品業者署名： _____

会社名： キルトガーデン

会社住所： 237-0066 神奈川県横須賀市
湘南鷹取 2-1-3

ミシンの機械番号 _____

HQ 業者へ：署名の上この受講票をHQ社にファックスで送信し登録を完了してください。

Handi Quilter Inc.
Training Check List
501 North 400 West
North Salt Lake, UT 84054

白紙ページ



Handi Quilter, Inc
501 N 400 W
North Salt Lake, UT 84054

1-877-MY-QUILT (697-8458) • www.HandiQuilter.com

HQ Amara™ is part of the family of innovative quilting products from Handi Quilter®

